

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

なお当該入札公告は、当院ホームページ上にも掲載する。

令和7年9月2日

日野病院組合

管理者 埜田 淳一

記

1. 調達内容

(1) 調達物品の名称及び数量

医事システム及び部門システム 1式

(2) 調達物品の仕様等

別紙医事システム及び部門システム仕様書のとおり

(3) 納入期限

令和7年12月26日(金)

(4) 納入場所

鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合 日野病院

(5) 入札方法

入札者は、調達物品の本体のほか、運送費、保険料、関税、据付工事費、稼働させるための設備改修費及び仕様書等に規定するもの等納入に要する一切の諸経費を含め金額を見積もるものとする。また入札者は、消費税に課税事業者であるか、非課税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 入札参加資格

この入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 次のア～カのいずれかに該当があった後2年間を経過しない者、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者でないこと。

ア. 契約の履行に当り故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたもの。

イ. 公正な競争の執行を妨げたもの又は、公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。

- ウ. 入札者が契約を結ぶこと又は契約を履行することを妨げた者。
 - エ. 監督又は検査の実施に当り職員の職務の執行を妨げた者。
 - オ. 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。
 - カ. 上記のア～オのいずれかに該当する事実があった者を、契約の履行に当り、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。
- (3) この公告に示した物品を納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを求めに応じて速やかに提供できる者であること。
- (4) 入札の日において、国または地方公共団体から指名停止の措置を受けていない者であること。

3. 入札説明書、仕様書等の交付場所等

- (1) 入札説明書、仕様書等の交付場所及び問い合わせ先
〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332
日野病院組合 日野病院 総務課 小川
電話：0859-72-0351 FAX：0859-72-0089
又は、日野病院ホームページから入手
- (2) 入札説明書の交付期間
令和7年9月2日（火）～令和7年9月12日（金）午前8時
- (3) 入札及び開札の日時及び場所
令和7年9月12日（金）午前10時
日野病院 第2会議室
- (4) 郵便等による入札
不可とする。

4. 落札者の決定

本入札説明書に従い入札書を提出したものであって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

5. その他

- (1) 質問票について
仕様書の内容について質問がある場合は、別紙質問票を FAX で提出する事。（回答は、入札日の前日までに当院ホームページにて回答）
質問票提出期限：令和7年9月9日（火）午後3時
- (2) 契約手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨とする。
- (3) 入札保証金及び契約保証金
免除する。
- (4) 契約書作成の要否
要

(5) 詳細は入札説明書による。

入 札 説 明 書

この入札説明書は、本件公告にさだめるもののほか、本件調達に係る入札及び契約に関し、入札者が熟知し、かつ遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

(1) 概要

本調達は、日野病院組合日野病院に調達物品を導入する。

(2) 調達物品の名称及び数量

医事システム及び部門システム 1式

(3) 調達物品の仕様等

別紙医事システム及び部門システム仕様書のとおり

(4) 納入期限

令和7年12月26日(金)

(5) 納入場所

鳥取県日野郡日野町野田332 日野病院組合日野病院

2. 入札参加資格

この入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 次のア～カのいずれかに該当があった後2年間を経過しない者、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者でないこと。

ア. 契約の履行に当り故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたもの。

イ. 公正な競争の執行を妨げたもの又は、公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。

ウ. 入札者が契約を結ぶこと又は契約を履行することを妨げた者。

エ. 監督又は検査の実施に当り職員の職務の執行を妨げた者。

オ. 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。

カ. 上記のア～オのいずれかに該当する事実があった者を、契約の履行に当り、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。

(3) この公告に示した物品を納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを求めに応じて速やかに提供できる者であること。

(4) 入札の日において、国または地方公共団体から指名停止の措置を受けていない者であること。

3. 入札手続等

- (1) 入札書の提出場所、入札に関する問い合わせ先

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332

日野病院組合日野病院総務課 担当 小川

電話：0859-72-0351 FAX：0859-72-0089

- (2) 入札及び開札の日時及び場所

令和7年9月12日（金）午前10時

日野病院 第2会議室

- (3) 郵便等による入札

不可とする。

4. 入札方法等

- (1) 入札者は、調達物品の本体のほか、運送費、保険料、関税、据付工事費、稼働させるための設備改修費及び仕様書等に規定するもの等納入に要する一切の諸経費を含め金額を見積もるものとする。また入札者は、消費税に課税事業者であるか、非課税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (2) 予定価格以内の入札がないときは、予定価格以内の価格に達するまで、再度入札を1回のみ行う。
- (3) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、密封して提出しなければならない。
- (4) 代理人に入札書を提出させるときは、必ず委任状を提出しなければならない。
- (5) 入札書及び委任状の宛名は「日野病院組合管理者 塚田 淳一」とすること。
- (6) 入札者は、いったん提出した入札書の書き換え、引き換え又は撤回することはできない。
- (7) 入札後、本件公告、基本仕様書並びにこの入札説明書等の不知又は不明を理由として、意義を申し立てることはできない。

5. 入札の無効

- (1) 本件公告に示した入札参加資格のない者の入札
- (2) 入札者に求められる義務を履行しなかった者の入札
- (3) 他の入札者の代理人を兼ねた者、又は2人以上の入札者の代理をした者の入札
- (4) 委任状のない代理人の入札
- (5) 入札に関して不正のあった者の入札
- (6) 記名押印のない入札書による入札
- (7) 入札書の金額、氏名、印影、その他入札に関する要件を欠き、又は重要な文字を誤脱し、若しくは記載内容を確認しがたい入札書による入札
- (8) 協定、会計法令、財務規定、会計規則、特例規則、本件公告及びこの入札説明書に違反した入札

6. 落札者の決定

本入札説明書に従い入札書を提出したものであって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

なお、再入札を行った場合でも落札者がいない場合は、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により最低価格入札者と交渉を行うものとする。

7. 契 約

(1) 契約する者

鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合

管理者 埒田 淳一

(2) 契約担当部署

日野病院 総務課

(3) 契約手続において使用する言語、通貨及び時刻

日本語、日本国通貨及び日本標準時

(4) 契約書作成の要否

要

(5) 手続における交渉の有無

無

令和7年 月 日

(宛先) 日野病院組合日野病院

電話番号 0859-72-0351

Fax 番号 0859-72-0089

質問票

医事システム及び部門システム1式に係る仕様について、次のとおり質問します。

項 目 (書類名称・ページ・項目など)	内 容

注1：質問事項は、簡潔に記載してください。

注2：行が足りない場合は、適宜追加してください。

注3：送信後、必ず電話により到着確認を行ってください。

所在地

商号又は名称

氏名 (フリガナ)

電話番号

メールアドレス

医事システム及び部門システム 仕様書

医事会計・収納管理・レジPOS・レセプトチェックシステム機能要件仕様

項番	業務名	要求仕様	備考
1-1-1	前提要件	現行医事システム内に格納されている患者基本情報及び、病名情報、会計会計情報などのデータは全て移行すること。現行システム：HOPE/SX-R 富士通Japan社製	
1-1-2	前提要件	現在稼働中の電子カルテと接続し、患者情報の送信・オーダ情報の会計取込みを実現すること。 システム名：HOPE/Lifemark-MX 富士通Japan社製	
1-1-3	前提要件	各サーバ及びUPSには、導入時より5年間の平日9:00～19:00の訪問修理対応費を一括にて調達することから本調達費に含めること。クライアント・プリンタの保守は本調達には含めず、別途協議の上、契約の方針を決定することとする。	
1-1-4	前提要件	サーバ及びクライアント・周辺機器の設置に関わる費用は全て本調達費用に含めること。	
1-1-5	前提要件	設置に関わるフロアHUB及びフロア内のLANケーブル等は、本調達費用に含めること。	
1-2-1	基本	医療機関向けの基本マスタを標準提供し、新薬、材料の追加等を容易にメンテナンス可能であること。	
1-2-2	基本	日常業務におけるレスポンスタイムは、ピーク時においても支障がないようにすること。	
1-2-3	基本	医療機関向け基本マスタが標準提供され、かつ点数・薬価・病名マスタはレセプト電算対応されていること。	
1-2-4	基本	労災、自賠責保険に関して法別番号を設定出来ること。	
1-2-5	基本	各窓口画面で患者番号の継承が行えること。	
1-2-6	基本	各画面には操作可能なファンクションキーへの割り当て機能が、常時確認可能なこと。	
1-2-7	基本	患者の検索を各業務画面で行え、該当者の検索は一覧画面から選択可能なこと。	
1-2-8	基本	前回D○を容易に呼び出せること。	
1-2-9	基本	電子カルテシステムより、データを取り込めること。	
1-2-10	基本	業務を停止せずに、データのバックアップが可能であること。	
1-2-11	基本	会計データのディスクへのデータの保存期間は5年以上が可能であり、かつ期間は任意設定可能なこと。	
1-2-12	基本	保存された会計データは、年数によらず同一の業務画面から参照可能なこと	
1-2-13	基本	前回D○の内容が過去の内容であっても、現在の点数で点数計算が可能であること	
1-2-14	基本	印刷データは紙での出力以外に、印刷イメージをデータで保存が出来ること。	
1-2-15	基本	業務開始時にパスワードの有無の設定が可能であること。	
1-2-16	基本	パスワードの有効期限が設定可能であること	
1-2-17	基本	システムの利用者IDにより患者登録、会計入力、病名登録、収納処理毎に実行を制限可能であること。	
1-2-18	基本	他業務へ自由に画面切り替えが可能で、複数の業務を同時使用出来ること。	
1-2-19	基本	会計入力中であっても、リアルタイムにレセプトのイメージで内容確認可能であること。また同時にチェック機能が働くこと	
1-2-20	基本	当月のレセプト表示時に、スクロール操作によって過去分のレセプトを瞬時に確認可能なこと	

項番	業務名	要求仕様	備考
1-2-21	基本	自動加算が可能な加算、指導料、通減等を網羅していること。	
1-2-22	基本	包括項目の算定が正しく行われること。	
1-2-23	基本	院外処方内容をレセプト用紙でも確認出来ること。	
1-2-24	基本	コメントが入力でき、レセプトに印刷出来ること。	
1-2-25	基本	入院で毎日算出する保険外については、会計入力でなくカレンダーでの登録が可能なこと。	
1-2-26	基本	長期療養医療を正しく管理し、必要な一部負担金を請求出来ること。	
1-2-27	基本	1画面上で複数保険の会計が可能なこと。 (特定の明細について保険の変更が可能なこと)	
1-2-28	基本	日報、月報、総括表はEXCEL、テキストデータの形式に出力可能なこと。	
1-2-29	基本	業務に関する連絡事項を、端末間でのメッセージのやり取りが可能であること。	
1-2-30	基本	診療報酬改訂やバージョンアップに伴う改版ソフトウェアの提供を行うこと。	
1-2-31	基本	業務や入力域に応じた操作ガイダンスを、業務画面上に常時表示可能なこと。	
1-2-32		業務画面に連動したオンラインマニュアルを、参照可能なこと	
1-2-33	基本	業務中の停電、電源断について再度電源投入した場合、処理中断情報の表示を行い、入力中業務に速やかに復旧出来ること。	
1-2-34	基本	クライアントで業務が起動している場合、サーバ機でシャットダウンができないようシステムの対応がとられていること。	
1-2-35	基本	改定対応プログラム、マニュアル等をオンラインにて入手が可能なこと	
1-2-36	基本	窓口業務で該当患者を呼び出した際に、事前に患者に関連させて登録した情報が、表示されるメモ機能を有していること。	伝言メモ
1-2-37	基本	画面背景色パターンが選択可能であること	
1-2-38	基本	ログインID毎の業務の実行履歴を保存、確認できること	
2-1-1	患者登録	新規患者は自動で最終番号を付番出来、かつ手入力も可能なこと。	
2-1-2	患者登録	患者情報は長期的に保存出来ること。	
2-1-3	患者登録	保険・公費共に、各99種類までの登録が可能であること。かつ保険+3種類の公費併用、または公費のみ3種類の公費併用等の保険パターンが登録可能である	
2-1-4	患者登録	保険ごとに保険証の有効期限・開始日を設定可能であること。	
2-1-5	患者登録	保険証確認履歴を参照し、当月未確認の場合はメッセージを表示する機能を有すること	
2-1-6	患者登録	有効期限切れの保険・公費を色分けして表示可能であること。	
2-1-7	患者登録	1患者1番号に対応出来、患者登録時には氏名、生年月日、性別で同性同名のチェックが容易に可能なこと。	
2-1-8	患者登録	漢字氏名入力は氏名辞書を有し、氏名選択画面からの日本語氏名の選択入力とワープロ入力の双方が可能なこと。	
		患者氏名は40文字程度入力可能なこと	50文字可能
2-1-9	患者登録	患者の漢字氏名入力には学習機能があること。又、氏名辞書はメンテナンス可能であること。	
2-1-10	患者登録	生年月日年号、性別は数字で入力出来ること。	
2-1-11	患者登録	入力した生年月日より、年齢および月齢が確認できること	
2-1-12	患者登録	登録した主保険と従保険のパターン負担率・負担条件等を自動表示出来ること。また、必要に応じて変更出来ること。	
2-1-13	患者登録	IDカード(診察券)を発行出来る機能を有すること。	
2-1-14	患者登録	カルテ1号紙は複数の保険種別が登録されている場合、それ毎に出力可能なこ	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-1-15	患者登録	住所は郵便番号またはカナ住所で検索可能なこと。頻繁に使用する住所についてはマスタ管理できること。	
2-1-16	患者登録	患者の検索はカナ氏名、生年月日、性別、入院患者で検索可能であること。	
2-1-17		カナ氏名はワイルドカード検索が可能であること。	
2-1-18		入院中の患者を検索する際、部屋・病棟で検索が可能なこと	
2-1-19	患者登録	旧姓等、変更前の氏名で患者検索が可能であること。	
2-1-20	患者登録	負担率の違う保険者番号の学習機能があり、メンテナンスも可能なこと。	
2-1-21	患者登録	患者番号の振り替えが可能なこと。	
2-1-22	患者登録	優先保険の設定が可能なこと	
2-1-23	患者登録	年齢により保険の妥当性チェックが可能なこと。	
2-1-24	患者登録	労災、自賠責保険情報が登録可能なこと。	
2-1-25	患者登録	地域等の特定の固有情報を設定出来、入力が可能なこと（50個）。	
2-1-26	患者登録	患者へのコメント文字の入力が可能なこと。	
2-1-27		患者情報単位にメモが50文字程度入力保存できること。	
2-1-28	患者登録	保険登録時に年齢チェックが可能なこと。	
2-1-29	患者登録	患者登録時に他の患者情報のコピー機能を有すること。	
2-1-30	患者登録	保険証や紹介状をイメージデータとして患者情報に関連付けて取り込むことが可能であること。また、患者登録の業務画面から直接スキャナーを操作して取り込みが可能なこと。	
2-2-1	受付業務	再来患者の受付が出来、保険証確認のチェックが可能なこと。	
2-2-2	受付業務	1回の受付で10科分に対応可能なこと。	
2-2-3	受付業務	1回の受付で6受付区分に対応可能なこと。	
2-2-4	受付業務	過去の受診科の照会が行え、それぞれの最終来院日の確認が可能なこと。	
2-2-5	受付業務	保険証の確認入力が行えること。	
2-2-6	受付業務	受付患者の一覧が表示出来、それぞれの受付時間、受付科、受付区分の確認が可能なこと。	
2-2-7	受付業務	受診内容の入力が行え、受診票の印刷が可能なこと。	
2-2-8	受付業務	自動再来受付機での再来受付が出来、受診票が発行出来ること。	
2-2-9	受付業務	IDカード（診察券）を用いて再来受付出来ること。	
2-3-1	病名登録業務	病名の登録が可能（部位まで）で、レセプト電算対応されたマスタが標準提供されていること。	
2-3-2	病名登録業務	病名はカナ、漢字、ICD10による検索が可能であること。。	
2-3-3	病名登録業務	病名のワープロ入力時に、前方一致により病名マスタより候補表示、選択が可能となる機能を有し、未コード化病名の削減が可能なこと	
2-3-4	病名登録業務	レセプト電算コードが設定されている病名と、ワープロ入力された病名が判別できること	
2-3-5	病名登録業務	500病名以上の登録が可能で、必要に応じ内外別や転帰の内容によって表示する病名の絞り込みが容易に行えること。	
2-3-6	病名登録業務	接頭語、接尾語の設定が可能で、病名との合成が可能であること。	
2-3-7	病名登録業務	病名管理は、転記（治ゆ、死亡、中止）、開始日付、終了日付が入力可能であること。	
2-3-8	病名登録業務	病名は特定病名の設定が可能で、画面で色により容易に把握出来ること。	
2-3-9	病名登録業務	感冒等の当月のみの病名を登録出来ること。	
2-3-10	病名登録業務	転記で終了した病名は保存期間を終了したら自動的に削除されること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-3-11	病名登録業務	病名入力中でも、病名マスタの抜取りや病名マスタの作成が可能であること。	
2-3-12	病名登録業務	病名の入力にはワープロ機能によっても入力出来ること。かつ、ワープロ入力された病名については、コード化された病名と明確に見分けがつくようフォントや色などで表現可能なこと。	
2-4-1	外来会計業務	診療内容と患者保険情報をもとに点数計算を行い、患者の請求全額を計算して請求書を印刷可能なこと。請求書は発行前に画面で確認が行え、内容が間違っている場合には再度、入力画面に戻り、内容の追加、修正、削除が行えること。	
2-4-2	外来会計業務	患者を選択し、電子カルテからオーダーの取込みを行えること。但し、オーダーの取込みは選択可能なこと。	
2-4-3	外来会計業務	自動算定の設定を行う事により、自動で1月上限回数まで自動算定出来る機能を有すること。	
2-4-4	外来会計業務	特定薬剤治療管理料は4ヶ月目以降の通減を薬剤単位で自動に行なえること。	
2-4-5	外来会計業務	会計入力には科、医師、部門を選択可能なこと。	
2-4-6	外来会計業務	深夜、休日、時間外、時間外特例医療機関加算を選択する機能があり、選択する事により自動算定されること。	
2-4-7	外来会計業務	入力中でも、病名登録や患者登録画面に容易に切替可能で、その切替えた画面での修正情報は入力中画面に反映されること。	
2-4-8	外来会計業務	会計入力画面に保険情報、病名、入院暦等の情報が表示がクライアント毎任意に設定可能なこと	
2-4-9	外来会計業務	指導状況、連絡事項の情報が会計入力前に確認が行えること。	
2-4-10	外来会計業務	入力にはコード入力、及び検索による入力が可能なこと。	
2-4-11	外来会計業務	診療行為入力時に、日本語名称の前方一致により、点数マスタから候補表示、選択が可能であること	
2-4-12	外来会計業務	診療行為の検索にあたっては、読みや略称コードからの検索だけでなく、診療行為名称の文字列（漢字含む）や薬効の分類からも検索可能であること。	
2-4-13	外来会計業務	診療行為の入力中に、過去の会計データの内容を常時表示する機能を有すること。かつ、表示中の過去データから簡易な操作で参照入力可能なこと。	
2-4-14	外来会計業務	約束入力、伝票入力、前回D○入力が行えること。	
2-4-15	外来会計業務	診療行為の入力中に、患者毎に設定された常用処方の内容を参照できること。また、常用処方の内容は、現在の診療行為の内容から簡易な操作で追加登録が可能であること。	
2-4-16	外来会計業務	1回の会計で、複数の科、複数の保険の入力が可能で会計は同時に行えること。	
2-4-17	外来会計業務	1回の会計で、10,000明細以上の入力が可能で、表示は項目名称、単位、点数、回数が表示可能なこと。	
2-4-18	外来会計業務	過去5年前迄の会計内容を参照しながら、今回の会計入力を行えること。又、参照内容から容易にコピーし現在の診療点数で計算されること。	
2-4-19	外来会計業務	日付を指定し、D○が使用可能なこと。	
2-4-20	外来会計業務	セット入力時には内容を確認し、数量を入力可能であること。	
2-4-21	外来会計業務	会計入力中でも、点数マスタの抜取りや点数マスタの作成が可能であること。	
2-4-22	外来会計業務	入力中の警告は即時に表示可能であること。	
2-4-23	外来会計業務	コメントはコード入力、ワープロ入力が可能であること。	
2-4-26	外来会計業務	請求書は科別出力か、合計で出力するかを選択出来ること。	
2-4-27	外来会計業務	会計終了時に裏点を記入する為の請求点数確認画面が表示されること。	
2-4-28	外来会計業務	請求確認画面で入金金額をゼロにすると、未収金として計上出来ること。	
2-4-29	外来会計業務	請求書、カルテ1号紙は入力中でも出力先プリンタを変更出来ること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-4-30	外来会計業務	自動加算、自動算定の機能を有すること。	
2-4-31	外来会計業務	画面上で自動算定された点数が色などで識別出来ること。	
2-4-32	外来会計業務	画面上で院内処方、院外処方が色などで識別出来ること。	
2-4-33	外来会計業務	包括行為の項目が入力されると、対象診療行為等は自動で包括されること。同時に包括された行為を強制的に非包括出来る機能を有すること。	
2-4-34	外来会計業務	画面上で包括された行為が色などで識別出来ること。	
2-4-35	外来会計業務	同一検査の中で検査項目を重複に入力しても、自動で1つに編集されること。	
2-4-36	外来会計業務	会計で一旦検査を入力した後に検査項目を追加入力した場合、検査の自動算定（丸め計算、剤区切り）を再実行する機能を有すること	
2-4-37	外来会計業務	CTなどは2回目以降に自動で遮減されること。	
2-4-38	外来会計業務	同一日付で科別に受診済かをチェック出来ること。	
2-4-39	外来会計業務	カレンダー形式で来院日が確認出来ること。	
2-4-40	外来会計業務	前回までの未収金額を含めて今回の請求金額に合算して請求書を作成可能であること。	
2-4-41	外来会計業務	画面の文字サイズの拡大縮小設定が可能なこと。	
2-4-42	外来会計業務	外来請求書を自動発行出来ること。かつ、請求書を発行せず請求データのみの保存も出来る選択機能を有すること。	
2-4-43	外来会計業務	点数マスタの検索画面にて、使用期限日を過ぎたマスタの文字色を変更することが可能であること	
2-4-44	外来会計業務	電子点数表を活用した背反チェック、算定回数の縦覧チェックが可能であること	
2-4-45		数量の小数点以下の桁数を5桁が入力可能なこと	
2-5-1	入院会計業務	外来会計業務と同様に入力が行え、画面イメージが変わらないこと。	
2-5-2	入院会計業務	退院日付以降のデータを削除出来ること。	
2-5-3	入院会計業務	退院処理を行っても、診療行為の入力が行えること。	
2-6-1	会計カード検索業務	外来会計業務、入院会計業務と同様な入力を行えること。	
2-6-2	会計カード検索業務	外来会計業務、入院会計業務で入力された内容を月別に表示し、診療行為の追加、修正、削除が行えること。	
2-6-3	会計カード検索業務	会計カードは月、診療区分、入外区分を指定し表示できること。	
2-6-4	会計カード検索業務	追加、修正、削除した内容から差額の計算が可能であり、再度請求書を作成出来ること。	
2-6-5	会計カード検索業務	診療行為をカレンダー表示出来、カレンダー画面から回数の変更及び診療行為の複写が出来ること。	
2-6-6	会計カード検索業務	入院、外来共に保険、科、医師の変更を一括に変更出来ること。	
2-6-7	会計カード検索業務	会計カードを印刷出来ること。	
2-7-1	入退院業務	患者の入退院、転科、転室、転病棟、医師、室料差額の登録、修正、削除が可能なこと。又、入院料、適用保険、外泊、欠食、特別食等の登録、修正、削除も可能なこと。	
2-7-2	入退院業務	過去の入院履歴の参照が可能で、入院料算定の除外設定が可能なこと。	
2-7-3	入退院業務	入院基本データはカレンダー形式で1月分表示可能で、前月、前々月の表示も可能なこと。	
2-7-4	入退院業務	退院日以降のデータが自動で削除可能なこと。	
2-7-5	入退院業務	入院料の看護加算等は病棟別に設定可能で、変更も可能なこと。	
2-7-6	入退院業務	自費項目等で、毎日発生する項目をカレンダー形式で登録可能なこと。	
2-7-7	入退院業務	前月の入院基本設定を翌月に継承可能なこと。	
2-7-8	入退院業務	リアルタイムな料金問合せを行えること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-7-9	入退院業務	退院処理は日付を指定可能で、裏点を記入する為の請求確認画面が表示出来ること	
2-7-10	入退院業務	過去の入院履歴の追加、修正、削除、参照が可能なこと。	
2-7-11	入退院業務	退院処理を行うと請求書が印刷されること。	
2-7-12	入退院業務	他医療機関での入院履歴が登録可能なこと。	
2-7-13	入退院業務	介護保険病棟での入院期間が管理可能で、入院基本料の加減算が可能なこと。	
2-8-1	収納処理業務	患者毎に入金・未収金の管理が可能であること。	
2-8-2	収納処理業務	未収金については永久保存であること。	
2-8-3	収納処理業務	分割入金に対応されていること。	
2-8-4	収納処理業務	預かり金を登録可能であること。	
2-8-5	収納処理業務	合計未収金額、合計預かり金額が表示出来ること。	
2-8-6	収納処理業務	請求書を作成出来る機能を有すること。	
2-8-7	収納処理業務	請求書の印刷枚数は予め設定可能であること	
2-8-8	収納処理業務	請求期間を指定する事により合算請求書を作成出来ること。	
2-8-9	収納処理業務	請求日付と入金日付を別に管理出来ること。	
2-8-11	収納処理業務	請求書の再発行が出来ること。	
2-8-12	収納処理業務	退院請求書の発行時に、月をまたいだ請求期間で1枚の請求書を作成することが可能であること。	
2-8-13	収納処理業務	入院定期請求は一括処理と、個別処理が選択可能であること。	
2-9-1	日報業務	保険別、科別に日計表を作成可能なこと。	
2-9-2	日報業務	患者別日計表を印刷可能なこと。	
2-9-3	日報業務	未収金日報を印刷可能なこと。	
2-9-4	日報業務	収納データ保存期間ならば日付を指定して日報を印刷可能なこと。	
2-9-5	日報業務	指定した日付の収益を科別、入外別にリアルタイムに表示可能なこと。	
2-9-6	日報業務	日報で出力されるデータがE X C E L、又はテキストデータで出力可能であること	
3-1-1	レセプト業務	診療報酬明細書（レセプト）の作成が可能であること。	
3-1-2	レセプト業務	レセプトは社保、国保等それぞれ指定された様式に対応されていること。	
3-1-3	レセプト業務	レセプトの印刷は前処理を行わなくても、即座に印刷が可能であること。	
3-1-4	レセプト業務	レセプトの印刷は月中でも印刷が可能であること。	
3-1-5	レセプト業務	レセプト印刷は複数端末、複数プリンタに対応されていること。	
3-1-6	レセプト業務	労災及び自賠責レセプトに対応されていること。	
3-1-7	レセプト業務	一般レセプトはレセプトの枠まで印刷可能な機能を有すること。	
3-1-8	レセプト業務	レセプト印刷の指示は入外、用紙番号、科、患者番号、の印刷順指定が可能なこと	
3-1-9	レセプト業務	レセプトの件数が判断可能な、レセプト一覧表の作成が可能であり、患者別にも出力可能で、レセプトが出力された後に会計が修正されたかどうかの判断が出来る印がつくこと。	
3-1-10	レセプト業務	レセプトの点検用に院外処方した投薬情報も印刷可能であること。	
3-1-11	レセプト業務	一定額以上の高額レセプト患者の高額レセプト日計表が出力可能なこと。	
3-1-12	レセプト業務	提出不要なレセプトの保留が行えること。保留解除も可能なこと。	
3-1-14	レセプト業務	退院した患者は患者番号を指定する事により、随時レセプトが発行可能なこと。	
3-1-15	レセプト業務	リハビリの実施日数を自動的に印刷出来ること。	
3-1-16	レセプト業務	手術、処置などはコメントを入力しなくとも診療日を印刷出来ること。	
3-1-19	レセプト業務	日々の入力においてレセプト電算提出データの自動作成が可能であり、月末月初の提出データ作成処理を必要としないこと	
3-1-20	レセプト業務	レセプト電算提出データを自動作成した場合のエラー内容を管理する画面を有すること	

項番	業務名	要求仕様	備考
3-1-21	レセプト業務	レセプト電算ファイルの作成で、未編集及び修正を加えたレセプトのみを編集する機能を有すること	
3-1-22	レセプト業務	審査支払機関側での受付チェックと同等のチェックを行う機能を有すること	
3-1-23	レセプト業務	症状詳記登録において、「治験に係る治験概要」「疾患別リハビリテーションにかかわる治療継続の理由等」の登録が行えること	
3-1-24	レセプト業務	レセプト電算ファイル作成時に、患者病名に「未コード化傷病名」が記録された割合を画面表示できること	
3-1-25	レセプト業務	提出用のレセプト電算媒体からレセプト印刷が可能であること	
3-1-27	レセプト業務	レセプトオンライン請求時、返戻データの取り込みが可能であること。また、返戻理由等の詳細を医事システム上で確認できること	
3-1-28	レセプト業務	返戻レセプト分のみのレセプト電算ファイルの編集が可能であること	
3-1-29	レセプト業務	レセプトオンライン請求システムの「送信データ集計表」に準拠した帳票を印刷可能なこと。	
3-1-34	レセプト業務	5者併用のレセプト電算請求ができること。	
3-2-1	総括表業務	レセプト印刷されたデータをもとに指定された様式で、診療報酬請求書（総括表）が印刷可能なこと。	
3-2-2	総括表業務	患者別の診療報酬点数が確認修正が可能なこと。	
3-2-3	総括表業務	返戻・保留などの管理が出来ること。	
3-2-4	総括表業務	総括表で出力されるデータがEXCEL、又はテキストデータで出力可能であること。	
3-3-1	DPC請求	提出用の、様式1、様式4、E/F、Dファイルが作成できること	
3-3-2	DPC請求	提出用ファイルに含む患者番号を変換して、匿名化できること	
3-3-3	DPC請求	DPC対象患者について、入院患者一覧、特定入院期間超過一覧、DPC入力状況一覧を出力できること	
4-1-1	その他業務	氏名カルテ情報、保険情報、来院情報、入院情報、病名情報、薬剤・行為情報などにより対象患者の検索及び、患者台帳の作成が出来ること。	
4-1-2	その他業務	行為・薬剤情報及びその回数数量を条件指定して、対象となる患者を抽出可能であること。	
4-1-3	その他業務	患者台帳の印刷項目を選択可能であること。	
4-1-4	その他業務	未収金額の範囲及び預かり金額の範囲を条件指定して、対象となる患者を抽出可能であること。	
4-1-5	その他業務	抽出した患者のデータをDM（ダイレクトメール）や葉書の形式に印刷可能であること。	
4-1-6	その他業務	レセプトチェック機能として、1ヶ月分の患者データについて、診療内容と病名の適合性、行為、内容の禁忌チェック、薬品の投与日数チェック等を行うことが可能なこと。	
4-2-1	その他業務	薬価改正毎に世代別に点数マスタ、セットマスタ、システムマスタを管理可能なこと。また、世代数に制限が無いこと。	
4-2-2	その他業務	点数マスタの印刷、病名マスタの印刷が可能であること。	
4-2-3	その他業務	セットマスタの登録が行えること。セットの複写機能も備えていること。	
4-2-4	その他業務	伝票マスタの登録が行えること。	
4-2-5	その他業務	レセプト電算に対応する標準提供点数マスタ、標準提供病名マスタを有すること	
4-2-6	その他業務	標準提供マスタより容易に抜き取りが可能であること。	
4-2-7	その他業務	包括行為に含まれる設定が可能であること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
4-2-8	その他業務	バックアップ処理は診療行為入力中でも行えること。	
4-2-9	その他業務	バックアップ対象データを選択可能なこと。	
4-2-10	その他業務	月別に会計データをバックアップ可能なこと。	
4-2-11	その他業務	月次、日次ごとに退避する内容を設定でき、日々の退避時間を短縮することが可能なこと。	
4-2-12	その他業務	データを復元出来る機能を有すること。	
4-2-13	その他業務	バックアップ終了後、コンピュータを自動的に終了することが可能なこと。	
4-2-14	その他業務	保険証によるオンライン資格確認を行った患者の保険情報を取り込めること。	
4-2-15	その他業務	マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行った患者の保険情報を取り込めること。	
4-2-16	その他業務	マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行った患者の特定健診情報および薬剤情報を参照できること。	
	接続インターフェース	患者基本情報を以下の部門システムと連携し、情報取得の実現をすること。 ・再来受付機 システム名：APS-NEXT TS ベンダー名：(株)アルメックス社 ・診察券カード発行機 機器名：DP-300M ベンダー名：ドッドウェルBMS社 ・医用画像 (PACS) システム名：RapidEyeCore ベンダー名：Canonメディカル社 ・健診システム システム名：TAK健診システム ベンダー名：(株)ケイズ社 ・生理検査システム システム名：FMHS-200 ベンダー名：フクダ電子(株) ・画像ファイリング システム名：EyeBaseNetSystem ベンダー名：ビーライン(株)	* 再来受付機に関しては、以下の要件を満たすこと。 ・受付情報を医事システム経由して上位システムの電子カルテへも送信が可能なこと。 ・患者毎の診察予約情報を再来受付機に送信し再来受付機で表示されること ・当日受付で患者が指定した受付機側の診療科、ドクターの受付情報を医事側で受信し、電子カルテへ情報送信が可能なこと。 ・再来受付機より受診予定の診療科と実施行為の情報を受信し、指定箇所へ自動的に基本伝票が印刷されること
	接続インターフェース	現在稼働しているオンライン資格確認と接続すること。	
5-1-1	ハード要件	医事サーバ1台、医事IF (カルテ連携) サーバ1台、クライアント8台、プリンタ4台の構成とすること 各サーバ形状はラック搭載型とする。上記サーバ構成が異なる場合でも、電子カルテ、部門・医事連携が可能な構成であれば提案可能とする。	
		医事サーバ	
5-1-3	機能要件	CPU：Xeon7 th プロセッサ E-2456(3.30GHz/6コア/18MB) 以上	
5-1-4	機能要件	DISK容量：600GB RAID5 構成 以上	
5-1-5	機能要件	メモリ：32GB 以上	
5-1-12	機能要件	Windows Server 2022 Standard または 2025 Standard	
5-1-8	機能要件	WindowsServer Cal 2025 9本	
		医事IF (カルテ連携) サーバ 1台	
5-1-9	機能要件	CPU：Xeon7 th プロセッサ E-2414G (2.60GHz/4コア/8MB) 以上	
5-1-10	機能要件	DISK容量：600GB RAID1構成 以上	
5-1-11	機能要件	メモリ：16GB 以上	
5-1-12	機能要件	Windows Server 2022 Standard または 2025 Standard	
		医事クライアント (デスクトップタイプ)	
5-1-13	機能要件	CPU：Core i5 3.4GHz 以上	
5-1-14	機能要件	HDD：512GB 以上	

項番	業務名	要求仕様	備考
5-1-15	機能要件	メモリ：16GB 以上	
5-1-16	機能要件	モニター：23.8インチ未満 *クライアント数 8台 解像度 1920×1080 (FULLHD) 以上	
5-1-17	機能要件	OS Windows11 Professional	
5-1-18	機能要件	MS Word2024・Excel2024 各8本	
		プリンタ・周辺機器関連	
5-1-19	機能要件	レーザープリンタ (A3対応) ※速度：モノクロ45枚/分 以上 1台	
5-1-20	機能要件	レーザープリンタ (A4対応) ※速度：モノクロ40枚/分 以上 3台	
5-1-21	機能要件	UPS装置 (サーバ用) 1200VA 以上 2台	
5-1-22	機能要件	NAS装置 (データバックアップ用) 容量：2TB 以上 1台	
		レジ用PC (ノートタイプ)	
5-1-23	機能要件	CPU：Core i5 3.4GHz 以上	
5-1-24	機能要件	HDD：256GB 以上	
5-1-25	機能要件	メモリ：8GB 以上	
5-1-26	機能要件	モニター：解像度 1920×1080 (FULLHD) 以上	
5-1-27	機能要件	OS Windows11 Professional	
5-1-8	機能要件	Excel2024 / ACCES 2024 各1本	
		POSシステム付属装置	
5-1-28	機能要件	キャッシュドロア 4札6硬貨以上格納 1台	
5-1-29	機能要件	サーマルレシートプリンタ (レジ連動) 1台	
5-1-30	機能要件	光学式バーコードリーダー 1台	
6-1-1	収納管理業務	収納管理システムは、医事会計システムで発生する患者請求情報をオンラインで取り込み収納情報を一括管理が可能なこと。	
6-1-2	収納管理業務	収納情報は、患者単位で管理でき請求書単位で履歴管理が可能なこと	
6-1-3	収納管理業務	長期未収等の患者への催告書、督促状の発行が可能なこと	
6-1-4	収納管理業務	入金処理は、POSシステムから実施可能なこと	
6-1-5	収納管理業務	カナ氏名より患者検索できること。	
6-1-6	収納管理業務	医事会計システムと連携し、患者情報 (患者番号・氏名・住所・保険情報等) を取得できること	
6-1-7	収納管理業務	医事会計システムより請求書発行時に自動的に未収金として登録されること。	
6-1-8	収納管理業務	医事会計システムで会計入力せずに新規未収金情報が登録できること。また、診療日・科・入外・保険・診療点数等の情報を入力し、負担金の自動計算が可能なこと。	
6-1-9	収納管理業務	患者ごとに請求書情報一覧が確認でき、請求書日付、請求書No、請求期間、請求金額、及び入金額、未収残高が請求書ごとに確認できること。	
6-1-10	収納管理業務	患者ごとに年度別の未収残高が確認できること。	
6-1-11	収納管理業務	請求書情報単位に診療区分別の点数、負担金、自費等の明細が確認出来ること。	
6-1-12	収納管理業務	登録済みの未収金情報が修正できること。また、再計算を行うこと。	
6-1-13	収納管理業務	請求書情報単位に入金処理ができること。請求金額以上の入金はエラー表示が可能なこと。	
6-1-14	収納管理業務	登録済み未収金情報の削除ができること。また、入金済の未収金情報は削除が不可とすること。	
6-1-15	収納管理業務	登録済み未収金情報から領収書の印刷が実施可能なこと。	
6-1-16	収納管理業務	預かり金管理が可能なこと	
6-1-17	収納管理業務	入金済み情報が一定期間の後、削除可能なこと。	

項番	業務名	要求仕様	備考
6-1-18	収納管理業務	請求書再計算時に、消費税を自動計算すること。また、法改正に対応するため、診療日から法改正前と後の税率で自動計算を行うことができること。	
6-1-19	収納管理業務	帳票として、以下帳票の出力が可能なこと <ul style="list-style-type: none"> ・未収金明細一覧表 ・決算監査一覧表 ・入外別科別未収金一覧表 ・入金一覧表 ・督促状発行患者一覧表 ・督促状 	
6-1-20	収納管理業務	POSシステムは収納管理システムと連携し、会計窓口の収納業務を正確かつ迅速に行えること	
6-1-21	収納管理業務	医事システムより入力された情報が自動的にPOSシステムに反映されること。	
6-1-22	収納管理業務	カナ氏名より患者検索ができること。	
6-1-23	収納管理業務	請求書・領収書等に出力したID情報をバーコードリーダーで読取り患者指定表示が可能なこと。	
6-1-24	収納管理業務	過去の未収分の入金も窓口で迅速に処理できること。	
6-1-25	収納管理業務	患者ごとに当日会計情報が確認できそれに対して入金又は未収登録ができる。また、入金時は釣り銭も計算できること。	
6-1-26	収納管理業務	入金処理画面では、本日会計分と未収金情報一覧が確認でき、入外区分、発行日、請求書番号、請求期間、請求額、入金済額、未収残額が未収金情報ごとに確認できること。	
6-1-27	収納管理業務	未収発生時は収納管理システムに自動的に未収登録されること。また、入金時は収納管理システムの未収情報を自動的に消込みができ、古い日付のものから消込みか新しい日付の金額から消込む設定が可能なこと	
6-1-28	収納管理業務	誤って入力した入金処理はもとの未収状態に戻せること。	
6-1-29	収納管理業務	複数の請求情報がある場合、合計請求金額が表示されること。	
6-1-30	収納管理業務	複数の未収情報がある場合、一括入金処理ができること。該当の未収情報の選択ができること。	
6-1-31	収納管理業務	未収金に対する入金は請求書単位に可能なこと。	
6-1-32	収納管理業務	預かり金情報が画面で確認できること。また、返金処理ができること。	
6-1-33	収納管理業務	既に入金又は返金済の収納情報を確認できること。	
6-1-34	収納管理業務	締め処理が行え、日計表が印刷できること。	
6-1-35	収納管理業務	カスタマーディスプレイ等と接続し、請求金額や釣り銭額を患者向けに表示が可能なこと。	
7-1-1	レセプト点検ソフト	既存のレセプト点検ソフトの更新につき、以下に要件に沿ったソフトを導入する 既存ソフト：株式会社エーアイエス社 MightyChekerPro	
7-1-2	機能要件	医事会計システムから抽出したレセプトデータ（社保・国保）を記録した磁気媒体（FD・MO・CD等）についてチェックが行えること。	
7-1-3	機能要件	レセプト電算処理で使用される形式・コードに準拠していること。 （オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様（医科用、DPC用））	
7-1-4	機能要件	複数台で使用可能なネットワーク対応型であること。	
7-1-5	機能要件	1医療機関1ライセンスであること。（1ライセンスで複数端末における利用が可能であること。）	
7-1-6	機能要件	最新のチェック用データベースを毎月提供できること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-7	機能要件	フォーマットのチェックができること。(オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様(医科用、DPC用)に準拠)	
7-1-8	機能要件	診療報酬改定前後等の電子レセプトの新旧フォーマットの読み込みができること。	
7-1-9	機能要件	保険者番号のチェックができること。	
7-1-10	機能要件	公費負担者番号のチェックができること。	
7-1-11	機能要件	公費受給者番号の桁数チェックができること。	
7-1-12	機能要件	男女区分、生年月日等の符号のチェックができること。	
7-1-13	機能要件	6歳未満で未就学者対象外のチェックができること。	
7-1-14	機能要件	未就学者の年齢が6歳以上のチェックができること。	
7-1-15	機能要件	15歳未満の本人・家族のチェックができること。	
7-1-16	機能要件	65歳未満で後期高齢者医療の保険を使用のチェックができること。	
7-1-17	機能要件	75歳以上で後期高齢者医療以外の保険を使用のチェックができること。	
7-1-18	機能要件	70歳以上75歳未満で高齢受給者以外の保険を使用のチェックができること。	
7-1-19	機能要件	70歳未満または75歳以上で高齢受給者の保険を使用のチェックができること。	
7-1-20	機能要件	65歳以上で国保退職者の保険を使用のチェックができること。	
7-1-21	機能要件	実日数もれのチェックができること。	
7-1-22	機能要件	当月範囲内診療実日数のチェックができること。	
7-1-23	機能要件	傷病名コードとマスターコードのチェックができること。	
7-1-24	機能要件	傷病名の廃止日と診療月のチェックができること。	
7-1-25	機能要件	傷病名の存在チェックができること。	
7-1-26	機能要件	未コード化傷病名(ワープロ病名)のチェックができること。	
7-1-27	機能要件	未コード化傷病名をレセ電算病名+修飾語に読み替えてチェックができること。	
7-1-28	機能要件	未コード化傷病名をユーザが指定したレセ電算病名と修飾語の組合せに変換してチェックができること。	
7-1-29	機能要件	未コード化傷病名をMEDIS提供の索引テーブルと照合し、レセ電算病名と合致したものに交換してチェックができること。	
7-1-30	機能要件	診療開始日と診察日のチェックができること。	
7-1-31	機能要件	主病名の存在のチェックができること。	
7-1-32	機能要件	「疑い」病名のチェックができること。(経過月数を指定し、その月数を超えた場合にチェックできること。)	
7-1-33	機能要件	「急性」病名のチェックができること。(経過月数を指定し、その月数を超えた場合にチェックできること。)	
7-1-34	機能要件	「急性」病名の対象は医療機関側で診療科別に設定できること。	
7-1-35	機能要件	重複病名のチェックができること。	
7-1-36	機能要件	重複病名を入院外(診療科別)レセプトの横覧でチェックできること。	
7-1-37	機能要件	診療行為と適応症の部位チェックができること。	
7-1-38	機能要件	傷病名数のチェックができること。	
7-1-39	機能要件	診療行為の期限切れコードのチェックができること。	
7-1-40	機能要件	医薬品の廃止日及び経過措置日と診療月のチェックができること。	
7-1-41	機能要件	特定器材の廃止日及び経過措置日と診療月のチェックができること。	
7-1-42	機能要件	入院基本料・看護加算及び各種施設基準届出(世代管理含む)の算定のチェックができること。	
7-1-43	機能要件	入院・外来コードのチェックができること。	
7-1-44	機能要件	病院・診療所コードのチェックができること。	
7-1-45	機能要件	後期高齢者医療適用コードのチェックができること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-46	機能要件	D P C専用コードのチェックができること。	
7-1-47	機能要件	点数・回数算定単位内の全レコードの（回数）が一致するかをチェックできること。	
7-1-48	機能要件	点数・回数算定単位内の全レコードの（算定日情報）について、（回数及び日にち）が一致するかをチェックできること。	
7-1-49	機能要件	「回数」と「算定日情報」の合計値の一致をチェックできること。	
7-1-50	機能要件	年齢からみて算定できない診療行為のチェックができること。	
7-1-51	機能要件	初診料と診療開始日病名のチェックができること。	
7-1-52	機能要件	初診料と休日加算のチェックができること。	
7-1-53	機能要件	初診料の算定条件が満たされていない場合のチェックができること。	
7-1-54	機能要件	初診料の記載は無いが算定できる可能性がある場合のチェックができること。	
7-1-55	機能要件	初・再診回数と診療実日数のチェックができること。	
7-1-56	機能要件	入院基本料と特定入院料による実日数等のチェックができること。	
7-1-57	機能要件	診療行為回数と実日数のチェックができること。	
7-1-58	機能要件	診療行為回数の1月あたりの上限チェックができること。	
7-1-59	機能要件	各種行為に対する注加算、年齢加算、時間外加算等の妥当性のチェックができること。	
7-1-60	機能要件	注加算対象診療行為の記録順がチェックできること。	
7-1-61	機能要件	病床数に制限がある診療行為について病床数と突合したチェックができること。	
7-1-62	機能要件	外来管理加算と診療行為のチェックができること。	
7-1-63	機能要件	指導料と初診料、指導料間の背反、指導料と関連病名のチェックができること。	
7-1-64	機能要件	同一月に入院があるのに慢性維持透析患者外来医学管理料を算定している場合のチェックができること。	
7-1-65	機能要件	投薬診療区分のチェックができること。（外用薬が内服の区分にある等。）	
7-1-66	機能要件	注射診療区分のチェックができること。（内服薬・外用薬が注射（診療識別31～33）にある等。）	
7-1-67	機能要件	投薬と麻毒加算、薬剤と生物学的製剤加算、医薬品の許容量等のチェックができること。	
7-1-68	機能要件	調剤料が算定されていた場合に、院内処方の医薬品が存在しなければ警告とするチェックができること。	
7-1-69	機能要件	特定疾患処方管理加算（処方料）の算定不可チェックができること。	
7-1-70	機能要件	特定疾患処方管理加算（処方せん料）の算定不可チェックができること。	
7-1-71	機能要件	一般名処方加算（処方せん料）の算定通知チェックができること。	
7-1-72	機能要件	一般名処方加算（処方せん料）の算定不可チェックができること。	
7-1-73	機能要件	外来迅速検体検査加算の項目数のチェックができること。	
7-1-74	機能要件	日数から見て1つの区切りになる検査がまとめられていない場合のチェックができること。	
7-1-75	機能要件	検査判断料の記載が有るが対応する検査実施料が記載されていない場合のチェックができること。	
7-1-76	機能要件	検査判断料の記載は無いが算定できる可能性の有る検査実施料が記載されている場合のチェックができること。	
7-1-77	機能要件	判断料を重複して算定していないかチェックができること。	
7-1-78	機能要件	逓減対象生体検査のチェックができること。	
7-1-79	機能要件	C T・MR I等の2回目逓減算定のチェックができること。	
7-1-80	機能要件	入院基本料に加算できない入院基本料加算のチェックができること。	
7-1-81	機能要件	短期滞在手術基本料と術式のチェックができること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-82	機能要件	症状詳記のチェックができること。	
7-1-83	機能要件	向精神薬の投与、多剤投与、抗不安薬3種類以上、睡眠薬3種類以上、抗うつ薬3種類以上、抗精神病薬3種類以上、抗不安薬及び睡眠薬4種類以上のチェックができること。	
7-1-84	機能要件	貼付剤の63枚超のチェックができること。	
7-1-85	機能要件	内服薬(診療識別21)の上限日数をチェックできること。	
7-1-86	機能要件	頓服薬(診療識別22)の上限回数をチェックできること。	
7-1-87	機能要件	コメントの期限切れコードのチェックができること。	
7-1-88	機能要件	コメントパターンを入力形式チェックができること。	
7-1-89	機能要件	通院・在宅精神療法における2種以上の抗うつ薬又は抗精神病薬投与時に必要な選択式コメントについてチェックができること。	
7-1-90	機能要件	医薬品と病名の適応性チェックができること。	
7-1-91	機能要件	診療開始日が算定日より後の傷病名は適応の対象としないこと。	
7-1-92	機能要件	対応する傷病名が記載されていない場合、候補病名を表示できること。	
7-1-93	機能要件	候補病名の個数を変更できること。	
7-1-94	機能要件	候補病名は医療機関の使用頻度を学習した頻度の高い順あるいは候補指定順の選択ができること。	
7-1-95	機能要件	警告メッセージを変更できること。	
7-1-96	機能要件	疑い病名を対象とするか否かを設定できること。	
7-1-97	機能要件	病名はICD10コードでも指定できること。	
7-1-98	機能要件	病名は修飾語付きで指定できること。修飾語のみの指定もできること。	
7-1-99	機能要件	病名は主傷病のみ適応とする指定ができること。	
7-1-100	機能要件	病名は複数病名の組み合わせでチェックができること。	
7-1-101	機能要件	病名は適応病名のほか診療行為あるいは医薬品等の条件付き(「AND条件」と「OR条件」)でチェックができること。	
7-1-102	機能要件	算定条件について請求用コードだけでなく、診療行為の区分番号や医薬品の薬価基準コードで検索や登録が行えチェックができること。	
7-1-103	機能要件	算定条件に同月・同日を指定してチェックができること。	
7-1-104	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-105	機能要件	年齢の範囲を設定してチェックができること。	
7-1-106	機能要件	対象の診療識別を指定してチェックができること。	
7-1-107	機能要件	診療科を設定してチェックができること。	
7-1-108	機能要件	傷病名の診療開始月または開始日からの経過月・日を指定してチェックができること。	
7-1-109	機能要件	単独処方薬剤の場合に限り点検を行う設定ができること。	
7-1-110	機能要件	病名は非適応病名のチェックができること。	
7-1-111	機能要件	適応症チェックされない医薬品に印がつけられること。	
7-1-112	機能要件	対象診療行為は、(基本診療料)、(医学管理料)、(在宅医療)、(検査)、	
7-1-113	機能要件	診療開始日が算定日より後の傷病名は適応の対象としないチェックができること。	
7-1-114	機能要件	対応する傷病名が記載されていない場合、候補病名を表示できること。	
7-1-115	機能要件	候補病名の個数を変更できること。	
7-1-116	機能要件	候補病名は医療機関の使用頻度を学習した頻度の高い順あるいは候補指定順の選択ができること。	
7-1-117	機能要件	警告メッセージを変更できること。	
7-1-118	機能要件	心身医学療法と病名(「心身症」)のチェックができること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-119	機能要件	関節腔内注射と適応症の左右部位チェックができること。	
7-1-120	機能要件	疑い病名を対象とするか否かを設定できること。	
7-1-121	機能要件	病名はICD10コードでも指定できること。	
7-1-122	機能要件	病名は修飾語付きで指定できること。修飾語のみの指定もできること。	
7-1-123	機能要件	病名は主傷病のみ適応とする指定ができること。	
7-1-124	機能要件	病名は複数病名の組み合わせでチェックできること。	
7-1-125	機能要件	病名は適応病名のほか診療行為あるいは医薬品等の条件付き（「AND条件」と「OR条件」）でチェックができること。	
7-1-126	機能要件	算定条件について、請求用コードだけでなく、診療行為の区分番号や医薬品の薬価基準コードによって検索や登録が行え、チェックができること。	
7-1-127	機能要件	算定条件に同月・同日を指定してチェックができること。	
7-1-128	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-129	機能要件	年齢の範囲を設定してチェックができること。	
7-1-130	機能要件	対象の診療識別を指定してチェックができること。	
7-1-131	機能要件	診療科を設定してチェックができること。	
7-1-132	機能要件	傷病名の診療開始月・日からの経過月・日を指定してチェックができること。	
7-1-133	機能要件	病名は非適応病名のチェックができること。	
7-1-134	機能要件	部位等がコメントであっても指定した修飾語コードに読み替えてチェックができること。	
7-1-135	機能要件	適応症チェックされない診療行為には印がつけられること。	
7-1-136	機能要件	診療行為ごとに左右の部位チェックができること。	
7-1-137	機能要件	部位等がコメントであってもパターンより修飾語コードに読み替えてチェックができること。	
7-1-138	機能要件	医薬品の病名禁忌のチェックができること。	
7-1-139	機能要件	投薬・注射薬の用量がチェックできること。	
7-1-140	機能要件	病名毎に用量が異なる場合は病名をみてチェックができること。	
7-1-141	機能要件	病名はICD10コードでも指定できること。	
7-1-142	機能要件	病名は修飾語付きで指定できること。修飾語のみの指定もできること。	
7-1-143	機能要件	適宜増減等の指定がある医薬品に対し、倍量まで許容とするなど、用量の係数を設定してチェックができること。	
7-1-144	機能要件	最大量・最小量のチェックができること。	
7-1-145	機能要件	添付文書の年齢区分によりチェックができること。	
7-1-146	機能要件	投与日数のチェックができること。（算定日情報を参照）	
7-1-147	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-148	機能要件	診療科を設定してチェックができること。	
7-1-149	機能要件	総投与日数チェックができること。（タケブロン等）	
7-1-150	機能要件	抗生物質製剤(注射)を処方した日数の合計が14日を超えていれば警告とするチェックができること。	
7-1-151	機能要件	点滴注射の注射容量チェックができること。	
7-1-152	機能要件	1日○回のチェックができること。	
7-1-153	機能要件	週○回のチェックができること。	
7-1-154	機能要件	1月の上限回数がチェックできること。	
7-1-155	機能要件	点検条件に傷病名を設定してチェックができること。	
7-1-156	機能要件	疑い病名を対象とするか否かを設定できること。	
7-1-157	機能要件	病名はICD10コードでも指定できること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-158	機能要件	病名は修飾語付きで指定できること。修飾語のみの指定もできること。	
7-1-159	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-160	機能要件	診療科を設定してチェックができること。	
7-1-161	機能要件	医学管理等の併算定のチェックができること。	
7-1-162	機能要件	重複検査のチェックができること。（同一月に算定できない複数or複数回の検査が記載されている場合）	
7-1-163	機能要件	重複処置のチェックができること。（同一日に算定できない複数の処置が記載されている場合）	
7-1-164	機能要件	1日○項目のチェックができること。	
7-1-165	機能要件	同一月に併算定不可の診療行為のチェックができること。	
7-1-166	機能要件	同月内算定もれ／不可のチェックができること。	
7-1-167	機能要件	同日算定もれ／不可のチェックができること。	
7-1-168	機能要件	回数が相違する場合のチェックができること。	
7-1-169	機能要件	上記以外の診療行為、医薬品、特定器材の併算定のチェックができること。	
7-1-170	機能要件	算定条件について、請求用コードだけでなく、診療行為の区分番号や医薬品の薬価基準コードによって検索や登録が行え、チェックができること。	
7-1-171	機能要件	点検条件に傷病名を設定してチェックができること。	
7-1-172	機能要件	疑い病名を対象とするか否かを設定できること。	
7-1-173	機能要件	病名はICD10コードでも指定できること。	
7-1-174	機能要件	病名は修飾語付きで指定できること。修飾語のみの指定もできること。	
7-1-175	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-176	機能要件	診療科を設定してチェックができること。	
7-1-177	機能要件	初診の月に算定可・算定不可の診療行為のチェックができること。	
7-1-178	機能要件	退院の日（退院日毎も指定可）に算定可・算定不可の診療行為のチェックができること。	
7-1-179	機能要件	入院の日（今回入院日も指定可）に算定可・算定不可の診療行為のチェックができること。	
7-1-180	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-181	機能要件	診療科を設定してチェックができること。	
7-1-182	機能要件	指導料等の算定もれチェックを病院・診療所、施設基準設定、年齢、診療科、傷病名、併算定条件等を設定してチェックができること。	
7-1-183	機能要件	疑い病名を対象とするか否かを設定できること。	
7-1-184	機能要件	病名はICD10コードでも指定できること。	
7-1-185	機能要件	病名は修飾語付きで指定できること。修飾語のみの指定もできること。	
7-1-186	機能要件	病名は主傷病のみ適応とする指定ができること。	
7-1-187	機能要件	病名は複数病名の組み合わせでチェックができること。	
7-1-188	機能要件	病名は適応病名のほか診療行為あるいは医薬品等の条件付き（「AND条件」と「OR条件」）でチェックができること。	
7-1-189	機能要件	傷病名の診療開始月からの経過月を指定してチェックができること。	
7-1-190	機能要件	算定条件について請求用コードだけでなく、診療行為の区分番号や医薬品の薬価基準コードで検索や登録が行えチェックができること。	
7-1-191	機能要件	チェックルールは有効期限の設定ができること。	
7-1-192	機能要件	特定疾患処方管理加算の算定もれがチェックできること。	
7-1-193	機能要件	上記以外の診療行為、医薬品、特定器材の算定もれのチェックができること。	
7-1-194	機能要件	医科、DPC共にチェックができること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-195	機能要件	複数月またがりチェックができること。	
7-1-196	機能要件	入院、外来またがりチェックができること。	
7-1-197	機能要件	各種加算のチェックができること。	
7-1-198	機能要件	医学管理料や指導料の算定もれのチェックができること。	
7-1-199	機能要件	薬剤や特定器材の算定もれのチェックができること。	
7-1-200	機能要件	禁忌のチェックができること。	
7-1-201	機能要件	同時算定不可のチェックができること。	
7-1-202	機能要件	コメントもれのチェックができること。	
7-1-203	機能要件	傷病名を参照する際、移行先病名等の変換前病名を使用するか、変換後病名を使用するかを選択できること。	
7-1-204	機能要件	用量・回数的大小チェックができること。	
7-1-205	機能要件	○回以上△回以下のチェックができること。	
7-1-206	機能要件	複数の医薬品、特定器材の数量を合算した総量に対してチェックができること。	
7-1-207	機能要件	「AND条件」と「OR条件」の組合せ設定でチェックができること。	
7-1-208	機能要件	エラー名称の設定ができること。	
7-1-209	機能要件	登録したチェックマスタは読み込み／出力ができること。	
7-1-210	機能要件	診療科、公費負担者番号、公費負担医療の受給者番号、男女区分、年齢、保険者番号、特記事項、傷病名、診療開始日、診療実日数、摘要欄項目が指定できること。	
7-1-211	機能要件	院外処方との突合チェックができること。	
7-1-212	機能要件	初診料の算定条件が満たされていない場合のチェックができること。	
7-1-213	機能要件	初診料の記載は無いが算定できる可能性がある場合のチェックができること。	
7-1-214	機能要件	判断料を重複して算定していないかチェックができること。	
7-1-215	機能要件	判断料の算定もれチェックができること。	
7-1-216	機能要件	通減対象生体検査のチェックができること。	
7-1-217	機能要件	C T・MR I等の2回目通減算定のチェックができること。	
7-1-218	機能要件	D P C 退院後外来レセプトで算定できない診療行為のチェックができること。	
7-1-219	機能要件	最大12ヶ月分の読み込み済みレセプトを参照して縦覧チェックが行えること。	
7-1-220	機能要件	○ヶ月に○回のチェックができること。	
7-1-221	機能要件	入院日から○日以内1日○回、以降○回のチェックができること。	
7-1-222	機能要件	入院中○回のチェックができること。	
7-1-223	機能要件	初診日から1ヶ月以内0回、以降月○回のチェックができること。	
7-1-224	機能要件	退院日から1ヶ月後より月○回のチェックができること。	
7-1-225	機能要件	○ヶ月○回の診療行為のチェックができること。	
7-1-226	機能要件	○週間○回の診療行為のチェックができること。	
7-1-227	機能要件	同一入院中算定不可の併算定のチェックができること。	
7-1-228	機能要件	今回入院中算定必須の併算定のチェックができること。	
7-1-229	機能要件	同一週算定不可の併算定のチェックができること。	
7-1-230	機能要件	診断群分類レコードがない場合のチェックができること。	
7-1-231	機能要件	診断群分類番号が14桁でない場合のチェックができること。	
7-1-232	機能要件	診断群分類番号が診断群分類点数表に存在しない場合のチェックができること。	
7-1-233	機能要件	診断群分類番号と主病名（ICD10）が不一致の場合のチェックができること。	
7-1-234	機能要件	退院と転帰区分の有無のチェックができること。	
7-1-235	機能要件	今回入院日と今回退院日の前後関係のチェックができること。	
7-1-236	機能要件	傷病名の記録漏れのチェックができること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-237	機能要件	医療資源を最も投入した傷病名・主傷病名・入院の契機となった傷病名が記載されていない場合のチェックができること。	
7-1-238	機能要件	副傷病の I C D 1 0 コードが診断群分類番号の該当の副傷病名テーブルに存在しているかのチェックができること。	
7-1-239	機能要件	副傷病名で疑い病名のチェックができること。	
7-1-240	機能要件	D P C 転帰区分と死因漏れのチェックができること。	
7-1-241	機能要件	前回退院年月日と今回入院年月日の前後関係のチェックができること。	
7-1-242	機能要件	診断群分類情報「手術なし」の条件チェックができること。	
7-1-243	機能要件	手術、処置の実施（予定）年月日の記録の有無がチェックできること。	
7-1-244	機能要件	手術、処置の実施（予定）年月日が入退院年月日の間にあるかのチェックができること。	
7-1-245	機能要件	入院時年齢と生年月日、今回入院年月日が合っているかのチェックができること。	
7-1-246	機能要件	診断群分類番号の年齢・体重・J C S 条件が患者基礎情報と適合しているかのチェックができること。	
7-1-247	機能要件	診断群分類番号の手術等分類が手術テーブルの条件と一致しているかのチェックができること。	
7-1-248	機能要件	診断群分類番号の処置等 1 が手術・処置等 1 テーブルの条件と一致しているかのチェックができること。	
7-1-249	機能要件	診断群分類番号の処置等 2 が手術・処置等 2 テーブルの条件と一致しているかのチェックができること。	
7-1-250	機能要件	包括小計点数＝入院期間区分別点数×入院期間区分別日数のチェックができること。	
7-1-251	機能要件	包括小数点数合算＝各包括評価レコードの包括小数合計の合算のチェックができること。	
7-1-252	機能要件	包括評価点数＝包括評価点数合算×医療機関別係数のチェックができること。	
7-1-253	機能要件	調整点数＝退院月における調整後の包括評価点数－過去の請求済分の包括評価点数のチェックができること。	
7-1-254	機能要件	診断群分類番号と入院期間区分より、入院期間別点数の整合性のチェックができること。	
7-1-255	機能要件	外泊日数や入院日数より、入院期間別日数の整合性のチェックができること。	
7-1-256	機能要件	包括小数点数（包括小数点数合算）、包括評価点数、調整点数（今月包括合計点数）のチェックができること。	
7-1-257	機能要件	D P C レセプトと包括対象行為記録不可の適応性のチェックができること。	
7-1-258	機能要件	総括対象 D P C レセプトと総括対象医科入院レセプトに一部負担金記録不可のチェックができること。	
7-1-259	機能要件	患者基礎情報が存在しているかチェックができること。	
7-1-260	機能要件	前回同一傷病での入院の有無のチェックができること。	
7-1-261	機能要件	予定入院患者に対する救急医療管理加算の算定不可のチェックができること。	
7-1-262	機能要件	提出する D P C レセプトにコーディングデータが存在しているかチェックができること。	
7-1-263	機能要件	D P C レセプトに記載されている手術・処置等のコーディングデータ内における存在チェックができること。	
7-1-264	機能要件	診療関連情報と出来高・コーディングデータの実施日の相違チェックができること。	
7-1-265	機能要件	「傷病名」と「医療資源を 2 番目に投入した傷病名」の同一 I C D 1 0 コード、同一傷病名チェックができること。	
7-1-266	機能要件	傷病名変更前後での I C D 1 0 コードのチェックができること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-267	機能要件	I C D 1 0 コードの詳細不明コードのチェックができること。(傷病名、副傷病名、主傷病名、入院契機病名)	
7-1-268	機能要件	傷病名の I C D 1 0 コードの詳細不明コードのチェックで候補となる傷病名を表示できること。	
7-1-269	機能要件	定義副傷病の候補を出力できること。	
7-1-270	機能要件	診断群分類番号の上 2 桁が同一で 7 日以内の再入院チェックができること。	
7-1-271	機能要件	疑い病名のみでの抗悪性腫瘍剤算定チェックができること。	
7-1-272	機能要件	複数の手術等実施時の診断群分類区分のチェックができること。	
7-1-273	機能要件	コーディングデータの廃止日チェックができること。	
7-1-274	機能要件	診断群分類情報「定義副傷病なし」で副傷病名が登録されているかチェックができること。	
7-1-275	機能要件	出来高で算定可能な項目のチェックができること。	
7-1-276	機能要件	包括評価対象外となる薬剤、手術等のチェックができること。	
7-1-277	機能要件	D P C コードの妥当性をレセプトに記載されている傷病名、患者情報、診療行	
7-1-278	機能要件	7 日以内の再入院時の前回退院時処方警告できること。	
7-1-279	機能要件	医科レセプト同様のチェックができること。D P C 病名数をカウントして点検を抑制する機能に、「傷病名が 1 2」、「併存傷病等が 8」、「併存病名 4 つまたは後発病名 4 つ」で点検を抑制できること。	
7-1-280	機能要件	診断群分類番号の検索(樹形図)ができること。	
7-1-281	機能要件	樹形図は診療報酬改定前後の表示ができること。	
7-1-282	機能要件	当月と縦覧のレセプト 2 画面表示ができること。	
7-1-283	機能要件	患者名、保険情報等のマスクができること。	
7-1-284	機能要件	チェック結果を一覧表で出力できること。	
7-1-285	機能要件	算定日情報を出力できること。	
7-1-286	機能要件	各医薬品・診療行為等のその月の初回使用日を出力できること。	
7-1-287	機能要件	コメントレコードの内容を出力できること。診療識別ごとに出力有無の指定ができること。	
7-1-288	機能要件	出力条件を指定できること。(審査支払機関・入外・病棟・医師・診療科・点検レベル)	
7-1-289	機能要件	退院分・在院分のみで印刷できること。	
7-1-290	機能要件	並び順を指定できること。(レセプト種別/病棟/診療科/医師/患者コード)	
7-1-291	機能要件	患者名、保険情報等のマスクができること。	
7-1-292	機能要件	PDF ファイルに出力できること。	
7-1-293	機能要件	チェック結果を患者別のレセプトイメージで出力できること。	
7-1-294	機能要件	チェック結果を患者別の日計表イメージで出力できること。	
7-1-295	機能要件	疑義のある摘要項目を赤字や網掛けでも印刷できること。	
7-1-296	機能要件	文字サイズを 2 段階で変更できること。	
7-1-297	機能要件	院外処方せんデータがある場合、区別ができること。	
7-1-298	機能要件	算定日情報を出力できること。	
7-1-299	機能要件	主保険と公費分点数が異なる場合、対象の公費の法別番号を行為ごとに出力できること。	
7-1-300	機能要件	出力条件を指定できること。(審査支払機関・入外・病棟・医師・診療科・点検レベル・レセプト種別・特記事項・法別番号・保険者公費負担者番号・公費の	
7-1-301	機能要件	退院分・在院分のみで印刷できること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-302	機能要件	並び順を指定できること。(社保・国保/医科・DPC/入院・外来/レセプト種別/病棟/診療科/医師/患者名/患者コード/カナ氏名)	
7-1-303	機能要件	対象とする患者は、全患者・警告患者のみ・警告なしのみ、患者コードの指定ができること。	
7-1-304	機能要件	対象とする患者は、一度に複数の指定ができること。	
7-1-305	機能要件	対象とする患者は、請求点数の範囲指定ができること。	
7-1-306	機能要件	患者名、保険情報等のマスクができること。	
7-1-307	機能要件	コーディングデータを出力できること。	
7-1-308	機能要件	症状詳記を出力できること。	
7-1-309	機能要件	途中から印刷を再開することができること。	
7-1-310	機能要件	PDFファイルに出力できること。	
7-1-311	機能要件	病床機能報告用病棟が出力できること。	
7-1-312	機能要件	チェック結果をCSVファイルに出力できること。	
7-1-313	機能要件	出力条件を指定できること。(審査支払機関・入外・病棟・医師・診療科・点検レベル)	
7-1-314	機能要件	退院分・在院分のみで印刷できること。	
7-1-315	機能要件	並び順を指定できること。(病棟/診療科/医師/患者コード)	
7-1-316	機能要件	患者名、保険情報等のマスクができること。	
7-1-317	機能要件	未コード化傷病名は、未コード化傷病名であることの識別ができ、さらにレセ電算病名に読み替え可能な場合、読み替え後の病名も表示できること。	
7-1-318	機能要件	分析ツールにより、警告の多い医薬品・診療行為等について集計表を出力できること。	
7-1-319	機能要件	分析ツールの分析結果は、印刷に加え、CSVも出力できること。	
7-1-320	機能要件	未コード化傷病名及び変換後病名の一覧を出力できること。	
7-1-321	機能要件	疑い病名(経過月)の一覧を出力できること。	
7-1-322	機能要件	急性病名(経過月)の一覧を出力できること。	
7-1-323	機能要件	不要病名の一覧を出力できること。	
7-1-324	機能要件	重複病名の一覧を出力できること。	
7-1-325	機能要件	点検結果を月別に病名もれ、請求困難、算定もれ別の疑義件数、疑義金額を請求金額、請求件数と併せてグラフ表示できること。また印刷、CSVファイル出力できること。	
7-1-326	機能要件	上記を病棟、医師、診療科、診療識別別にできること。	
7-1-327	機能要件	上記から各区分の疑義金額の多いものからルール別にグラフ表示できること。また	
7-1-328	機能要件	上記でルールごとに各月の疑義金額を比較表示できること。	
7-1-329	機能要件	上記で同一月内での点検結果の比較を表示できること。	
7-1-330	機能要件	増減点連絡書CSVデータ等を読み込み、査定・返戻金額の集計や項目別の集計、CSVデータ出力ができること。	
7-1-331	機能要件	上記を病棟、医師、診療科、診療識別別にできること。	
7-1-332	機能要件	上記で時系列・金額順等に出力できること。	
7-1-333	機能要件	上記から対象レセプトの抽出・印刷ができること。また、増減点連絡書の記載内容を合わせて出力できること。	
7-1-334	機能要件	上記から対象項目の点検ルールを参照・作成できること。	
7-1-335	機能要件	査定データ、返戻データ、再審査等の内容を手入力により登録でき、各集計結果に反映できること。	
7-1-336	機能要件	査定、返戻データをレセプト単位、箇所単位、項目単位に表示・編集できるこ	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-337	機能要件	病棟、医師、診療科のコード、名称については個別に設定あるいはCSVファイルから読み込み設定できること。	
7-1-338	機能要件	ユーザーID、パスワード等によるセキュリティ管理ができること。	
7-1-339	機能要件	アクセスログを利用者が確認できること。	
7-1-340	機能要件	アクセスログへのアクセス制限機能があること。	
7-1-341	機能要件	基本的なチェック毎に、チェックを行うか否かの設定ができること。	
7-1-342	機能要件	適応症非適応設定については、全医薬品の設定ができること。	
7-1-343	機能要件	適応症非適応設定については、全診療行為の設定ができること。	
7-1-344	機能要件	適応症非適応設定については、全特定器材の設定ができること。	
7-1-345	機能要件	審査情報提供事例及び公知申請に係る事前評価情報を元に登録された適応病名を区別して表示できること。	
7-1-346	機能要件	査定実態等に応じて適応疾患、非適応疾患の追加・削除ができること。	
7-1-347	機能要件	点検結果表示一覧から点検ルール設定を起動し設定できること。	
7-1-348	機能要件	患者病名から適応病名へ追加できること。	
7-1-349	機能要件	複数の診療行為あるいは医薬品等の条件（AND、OR条件）を設定することにより、チェックを回避できること。	
7-1-350	機能要件	診療科ごとにチェックルールの設定ができること。	
7-1-351	機能要件	医薬品の用量は病名ごとに設定ができること。	
7-1-352	機能要件	事前に登録したコメントがレセプトデータにあるとき、チェックを回避できること。	
7-1-353	機能要件	保険者番号の登録とその有効期間の設定ができること。	
7-1-354	機能要件	廃止になった医薬品等の適応症チェックルールを移行先の医薬品のルールに容易に設定できること。	
7-1-355	機能要件	チェーンアップしたデータを抜き出し、また反映することができること。	
7-1-356	機能要件	ルール変更の操作についてのLOGの履歴を表示印刷することができること。	
7-1-357	機能要件	レセプト特記事項はユーザーが任意に追加したコードで点検できること。	
7-1-358	機能要件	特定のレセプト特記事項の場合、チェックを回避できること。	
7-1-359	機能要件	特定の保険者番号／公費負担者番号の場合、チェックを回避できること。	
7-1-360	機能要件	特定の診療識別の場合、チェックを回避できること。	
7-1-361	機能要件	医薬品から適応する病名を検索できること。	
7-1-362	機能要件	診療行為から適応する病名を検索できること。	
7-1-363	機能要件	対象診療行為は、「基本診療料」、「医学管理料」、「在宅医療」、「検査」、「画像」、「投薬」、「注射」、「リハビリテーション」、「精神科専門療法」、「処置」、「手術」、「麻酔」、「放射線治療」、「病理診断」、「その他」のすべての行為から検索ができること。	
7-1-364	機能要件	医薬品は一般名から検索できること。	
7-1-365	機能要件	医薬品は一般名処方加算算定可の表示ができること。	
7-1-366	機能要件	医薬品は、「禁忌」、「効能効果」、「適応疾患」、「用法用量」、「廃止日」、「後発品情報」等の情報が表示できること。	
7-1-367	機能要件	医薬品から適応する病名、病名から適応する各区分の診療行為等連鎖的な検索ができること。	
7-1-368	機能要件	審査情報提供事例及び公知申請に係る事前評価情報を元に登録された適応病名を区別して表示できること。 審査情報提供事例等のように絞って表示できること。	
7-1-369	機能要件	各点検ルール設定画面から辞書画面が表示できること。	
7-1-370	機能要件	点検結果から辞書画面が表示できること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
7-1-371	機能要件	保険者番号の検索ができること。	
7-1-372	機能要件	点検ポイント：算定上注意が必要な内容を、警告だけでなく詳細をPDFファイルで参照する事ができること。	
7-1-373	機能要件	確認・承認ステータス：読込みを行ったセプトに対して、内容の確認依頼、承認依頼などステータスを付与する事ができること。	
7-1-374	機能要件	付箋機能：読込みを行ったセプトに対して、メモ的な文章をを付与する事ができること。	
7-1-375	機能要件	標榜診療科設定：医療機関の標榜診療科を設定できること。それにより標榜診療科毎の点検が行えること。	

医事会計システム機能要件仕様 *黒坂診療所

項番	業務名	要求仕様	備考
1-1-1	前提要件	現在利用している医事会計システム (HOPE/SX-Rs 富士通Japgan社製) の更新を実施する。	
1-1-2	前提要件	新医事システムには、現行の設定情報・会計データの全て移行すること。	
1-1-3	前提要件	PC及びUPSは、5年間の平日対応の保守費用を一括して調達するので本調達額に含めること	
1-1-4	前提要件	PC・周辺機器の設置に関わる費用は全て本調達費用に含めること。	
1-1-5	前提要件	設置に関わるフロアHUB及びフロア内のLANケーブル等は、本調達費用に含めること。	
1-2-1	基本	医療機関向けの基本マスタを標準提供し、新薬、材料の追加等を容易にメンテナンス可能であること。	
1-2-2	基本	日常業務におけるレスポンスタイムは、ピーク時においても支障がないようにすること。	
1-2-3	基本	医療機関向け基本マスタが標準提供され、かつ点数・薬価・病名マスタはレセプト電算対応されていること。	
1-2-4	基本	労災、自賠責保険に関して法別番号を設定出来ること。	
1-2-5	基本	各窓口画面で患者番号の継承が行えること。	
1-2-6	基本	各画面には操作可能なファンクションキーへの割り当て機能が、常時確認可能なこと。	
1-2-7	基本	患者の検索を各業務画面で行え、該当者の検索は一覧画面から選択可能なこと。	
1-2-8	基本	前回D○を容易に呼び出せること。	
1-2-9	基本	電子カルテシステムより、データを取り込めること。	
1-2-10	基本	業務を停止せずに、データのバックアップが可能であること。	
1-2-11	基本	会計データのディスクへのデータの保存期間は5年以上が可能であり、かつ期間は任意設定可能なこと。	
1-2-12	基本	保存された会計データは、年数によらず同一の業務画面から参照可能なこと	
1-2-13	基本	前回D○の内容が過去の内容であっても、現在の点数で点数計算が可能であること。	
1-2-14	基本	印刷データは紙での出力以外に、印刷イメージをデータで保存が出来ること。	
1-2-15	基本	業務開始時にパスワードの有無の設定が可能であること。	
1-2-16	基本	パスワードの有効期限が設定可能であること	
1-2-17	基本	システムの利用者IDにより患者登録、会計入力、病名登録、収納処理毎に実行を制限可能であること。	
1-2-18	基本	他業務へ自由に画面切り替えが可能で、複数の業務を同時使用出来ること。	
1-2-19	基本	会計入力中であっても、リアルタイムにレセプトのイメージで内容確認可能であること。また同時にチェック機能が働くこと	
1-2-20	基本	当月のレセプト表示時に、スクロール操作によって過去分のレセプトを瞬時に確認可能なこと	
1-2-21	基本	自動加算が可能な加算、指導料、減減等を網羅していること。	
1-2-22	基本	包括項目の算定が正しく行われること。	
1-2-23	基本	院外処方の内容をレセプト用紙でも確認出来ること。	
1-2-24	基本	コメントが入力でき、レセプトに印刷出来ること。	
1-2-25	基本	入院で毎日算出する保険外については、会計入力でなくカレンダーでの登録が可能なこと。	
1-2-26	基本	長期療養医療を正しく管理し、必要な一部負担金を請求出来ること。	
1-2-27	基本	1画面上で複数保険の会計が可能なこと。 (特定の明細について保険の変更が可能なこと)	
1-2-28	基本	日報、月報、総括表はEXCEL、テキストデータの形式に出力可能なこと。	
1-2-29	基本	業務に関する連絡事項を、端末間でのメッセージのやり取りが可能であること。	
1-2-30	基本	診療報酬改訂やバージョンアップに伴う改版ソフトウェアの提供を行うこと。	
1-2-31	基本	業務や入力域に応じた操作ガイダンスを、業務画面上に常時表示可能なこと。	

項番	業務名	要求仕様	備考
1-2-32		業務画面に連動したオンラインマニュアルを、参照可能なこと	
1-2-33	基本	業務中の停電、電源断について再度電源投入した場合、処理中断情報の表示を行い、入力中業務に速やかに復旧出来ること。	
1-2-34	基本	クライアントで業務が起動している場合、サーバ機でシャットダウンができないようシステム的な対応がとられていること。	
1-2-35	基本	改定対応プログラム、マニュアル等をオンラインにて入手が可能なこと	
1-2-36	基本	窓口業務で該当患者を呼び出した際に、事前に患者に関連させて登録した情報が、表示されるメモ機能を有していること。	伝言メモ
1-2-37	基本	画面背景色パターンが選択可能であること	
1-2-38	基本	ログインID毎の業務の実行履歴を保存、確認できること	
2-1-1	患者登録	新規患者は自動で最終番号を付番出来、かつ手入力も可能なこと。	
2-1-2	患者登録	患者情報は長期的に保存出来ること。	
2-1-3	患者登録	保険・公費共に、各99種類までの登録が可能であること。かつ保険+3種類の公費併用、または公費のみ3種類の公費併用等の保険パターンが登録可能であること。	
2-1-4	患者登録	保険ごとに保険証の有効期限・開始日を設定可能であること。	
2-1-5	患者登録	保険証確認履歴を参照し、当月未確認の場合はメッセージを表示する機能を有すること	
2-1-6	患者登録	有効期限切れの保険・公費を色分けして表示可能であること。	
2-1-7	患者登録	1患者1番号に対応出来、患者登録時には氏名、生年月日、性別で同性同名のチェックが容易に可能なこと。	
2-1-8	患者登録	漢字氏名入力は氏名辞書を有し、氏名選択画面からの日本語氏名の選択入力とワープロ入力の双方が可能なこと。	
		患者氏名は40文字程度入力可能なこと	50文字可能
2-1-9	患者登録	患者の漢字氏名入力には学習機能があること。又、氏名辞書はメンテナンス可能であること。	
2-1-10	患者登録	生年月日年号、性別は数字で入力出来ること。	
2-1-11	患者登録	入力した生年月日より、年齢および月齢が確認できること	
2-1-12	患者登録	登録した主保険と従保険のパターン負担率・負担条件等を自動表示出来ること。また、必要に応じて変更出来ること。	
2-1-13	患者登録	IDカード（診察券）を発行出来る機能を有すること。	
2-1-14	患者登録	カルテ1号紙は複数の保険種別が登録されている場合、それ毎に出力可能なこと。	
2-1-15	患者登録	住所は郵便番号またはカナ住所で検索可能なこと。頻繁に使用する住所についてはマスタ管理できること。	
2-1-16	患者登録	患者の検索はカナ氏名、生年月日、性別、入院患者で検索可能であること。	
2-1-17		カナ氏名はワイルドカード検索が可能であること。	
2-1-18		入院中の患者を検索する際、部屋・病棟で検索が可能なこと	
2-1-19	患者登録	旧姓等、変更前の氏名で患者検索が可能であること。	
2-1-20	患者登録	負担率の違う保険者番号の学習機能があり、メンテナンスも可能なこと。	
2-1-21	患者登録	患者番号の振り替えが可能なこと。	
2-1-22	患者登録	優先保険の設定が可能なこと	
2-1-23	患者登録	年齢により保険の妥当性チェックが可能なこと。	
2-1-24	患者登録	労災、自賠責保険情報が登録可能なこと。	
2-1-25	患者登録	地域等の特定の固有情報を設定出来、入力が可能なこと（50個）。	
2-1-26	患者登録	患者へのコメント文字の入力が可能なこと。	
2-1-27		患者情報単位にメモが50文字程度入力保存できること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-1-28	患者登録	保険登録時に年齢チェックが可能なこと。	
2-1-29	患者登録	患者登録時に他の患者情報のコピー機能を有すること。	
2-1-30	患者登録	保険証や紹介状をイメージデータとして患者情報に関連付けて取り込むことが可能であること。また、患者登録の業務画面から直接スキャナーを操作して取り込みが可能なこと。	
2-2-1	受付業務	再来患者の受付が出来、保険証確認のチェックが可能なこと。	
2-2-2	受付業務	1回の受付で10科分に対応可能なこと。	
2-2-3	受付業務	1回の受付で6受付区分に対応可能なこと。	
2-2-4	受付業務	過去の受診科の照会が行え、それぞれの最終来院日の確認が可能なこと。	
2-2-5	受付業務	保険証の確認入力が行えること。	
2-2-6	受付業務	受付患者の一覧が表示出来、それぞれの受付時間、受付科、受付区分の確認が可能なこと。	
2-2-7	受付業務	受診内容の入力が行え、受診票の印刷が可能なこと。	
2-2-8	受付業務	自動再来受付機での再来受付が出来、受診票が発行出来ること。	
2-2-9	受付業務	IDカード（診察券）を用いて再来受付出来ること。	
2-3-1	病名登録業務	病名の登録が可能（部位まで）で、レセプト電算対応されたマスタが標準提供されていること。	
2-3-2	病名登録業務	病名はカナ、漢字、ICD10による検索が可能であること。	
2-3-3	病名登録業務	病名のワープロ入力時に、前方一致により病名マスタより候補表示、選択が可能となる機能を有し、未コード化病名の削減が可能なこと	
2-3-4	病名登録業務	レセプト電算コードが設定されている病名と、ワープロ入力された病名が判別できること	
2-3-5	病名登録業務	500病名以上の登録が可能で、必要に応じ入外別や転帰の内容によって表示する病名の絞り込みが容易に行えること。	
2-3-6	病名登録業務	接頭語、接尾語の設定が可能で、病名との合成が可能であること。	
2-3-7	病名登録業務	病名管理は、転記（治ゆ、死亡、中止）、開始日付、終了日付が入力可能であること。	
2-3-8	病名登録業務	病名は特定病名の設定が可能で、画面で色により容易に把握出来ること。	
2-3-9	病名登録業務	感冒等の当月のみの病名を登録出来ること。	
2-3-10	病名登録業務	転記で終了した病名は保存期間を終了したら自動的に削除されること。	
2-3-11	病名登録業務	病名入力中でも、病名マスタの抜き取りや病名マスタの作成が可能であること。	
2-3-12	病名登録業務	病名の入力はワープロ機能によっても入力出来ること。かつ、ワープロ入力された病名については、コード化された病名と明確に見分けがつくようフォントや色などで表現可能なこと。	
2-4-1	外来会計業務	診療内容と患者保険情報をもとに点数計算を行え、患者の請求全額を計算して請求書を印刷可能なこと。請求書は発行前に画面で確認が行え、内容が間違っている場合には再度、入力画面に戻り、内容の追加、修正、削除が行えること。	
2-4-2	外来会計業務	患者を選択し、電子カルテからオーダーの取込みを行えること。但し、オーダーの取込みは選択可能なこと。	
2-4-3	外来会計業務	自動算定の設定を行う事により、自動で1月上限回数まで自動算定出来る機能を有すること。	
2-4-4	外来会計業務	特定薬剤治療管理料は4ヶ月目以降の逡減を薬剤単位で自動に行なえること。	
2-4-5	外来会計業務	会計入力科、医師、部門を選択可能なこと。	
2-4-6	外来会計業務	深夜、休日、時間外、時間外特例医療機関加算を選択する機能があり、選択する事により自動算定されること。	
2-4-7	外来会計業務	入力中でも、病名登録や患者登録画面に容易に切替可能で、その切替えた画面での修正情報は入力中画面に反映されること。	
2-4-8	外来会計業務	会計入力画面に保険情報、病名、入院暦等の情報が表示がクライアント毎任意に設定可能なこと	
2-4-9	外来会計業務	指導状況、連絡事項の情報が会計入力前に確認が行えること。	
2-4-10	外来会計業務	入力はコード入力、及び検索による入力が可能なこと。	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-4-11	外来会計業務	診療行為入力時に、日本語名称の前方一致により、点数マスタから候補表示、選択が可能であること	
2-4-12	外来会計業務	診療行為の検索にあたっては、読みや略称コードからの検索だけでなく、診療行為名称の文字列（漢字含む）や薬効の分類からも検索可能であること。	
2-4-13	外来会計業務	診療行為の入力中に、過去の会計データの内容を常時表示する機能を有すること。かつ、表示中の過去データから簡易な操作で参照入力可能なこと。	
2-4-14	外来会計業務	約束入力、伝票入力、前回D○入力が行えること。	
2-4-15	外来会計業務	診療行為の入力中に、患者毎に設定された常用処方の内容を参照できること。また、常用処方の内容は、現在の診療行為の内容から簡易な操作で追加登録が可能であること。	
2-4-16	外来会計業務	1回の会計で、複数の科、複数の保険の入力が可能で会計は同時に行えること。	
2-4-17	外来会計業務	1回の会計で、10,000明細以上の入力が可能で、表示は項目名称、単位、点数、回数が表示可能なこと。	
2-4-18	外来会計業務	過去5年前迄の会計内容を参照しながら、今回の会計入力を行えること。又、参照内容から容易にコピーし現在の診療点数で計算されること。	
2-4-19	外来会計業務	日付を指定し、D○が使用可能なこと。	
2-4-20	外来会計業務	セット入力時には内容を確認し、数量を入力可能であること。	
2-4-21	外来会計業務	会計入力中でも、点数マスタの抜取りや点数マスタの作成が可能であること。	
2-4-22	外来会計業務	入力中の警告は即時に表示可能であること。	
2-4-23	外来会計業務	コメントはコード入力、ワープロ入力が可能であること。	
2-4-26	外来会計業務	請求書は科別出力か、合計で出力するかを選択出来ること。	
2-4-27	外来会計業務	会計終了時に裏点を記入する為の請求点数確認画面が表示されること。	
2-4-28	外来会計業務	請求確認画面で入金金額をゼロにすると、未収金として計上出来ること。	
2-4-29	外来会計業務	請求書、カルテ1号紙は入力中でも出力先プリンタを変更出来ること。	
2-4-30	外来会計業務	自動加算、自動算定の機能を有すること。	
2-4-31	外来会計業務	画面上で自動算定された点数が色などで識別出来ること。	
2-4-32	外来会計業務	画面上で院内処方、院外処方が色などで識別出来ること。	
2-4-33	外来会計業務	包括行為の項目が入力されると、対象診療行為等は自動で包括されること。同時に包括された行為を強制的に非包括出来る機能を有すること。	
2-4-34	外来会計業務	画面上で包括された行為が色などで識別出来ること。	
2-4-35	外来会計業務	同一検査の中で検査項目を重複に入力しても、自動で1つに編集されること。	
2-4-36	外来会計業務	会計で一旦検査を入力した後に検査項目を追加入力した場合、検査の自動算定（丸め計算、剤区切り）を再実行する機能を有すること	
2-4-37	外来会計業務	CTなどは2回目以降に自動で減減されること。	
2-4-38	外来会計業務	同一日付で科別に受診済かをチェック出来ること。	
2-4-39	外来会計業務	カレンダー形式で来院日が確認出来ること。	
2-4-40	外来会計業務	前回までの未収金額を含めて今回の請求金額に合算して請求書を作成可能であること。	
2-4-41	外来会計業務	画面の文字サイズの拡大縮小設定が可能なこと。	
2-4-42	外来会計業務	外来請求書を自動発行出来ること。かつ、請求書を発行せず請求データのみ保存も出来る選択機能を有すること。	
2-4-43	外来会計業務	点数マスタの検索画面にて、使用期限日を過ぎたマスタの文字色を変更することが可能である	
2-4-44	外来会計業務	電子点数表を活用した背反チェック、算定回数の縦覧チェックが可能であること。	
2-4-45	外来会計業務	数量の小数点以下の桁数を5桁が入力可能なこと	
2-6-1	会計カード検索業務	外来会計業務、入院会計業務と同様な入力を行えること。	
2-6-2	会計カード検索業務	外来会計業務、入院会計業務で入力された内容を月別に表示し、診療行為の追加、修正、削除が行えること。	

項番	業務名	要求仕様	備考
2-6-3	会計カード検索業務	会計カードは月、診療区分、入外区分を指定し表示できること。	
2-6-4	会計カード検索業務	追加、修正、削除した内容から差額の計算が可能であり、再度請求書を作成出来ること。	
2-6-5	会計カード検索業務	診療行為をカレンダー表示出来、カレンダー画面から回数の変更及び診療行為の複写が出来ること。	
2-6-6	会計カード検索業務	保険、科、医師の変更を一括に変更出来ること。	
2-6-7	会計カード検索業務	会計カードを印刷出来ること。	
2-8-1	収納処理業務	患者毎に入金・未収金の管理が可能であること。	
2-8-2	収納処理業務	未収金については永久保存であること。	
2-8-3	収納処理業務	分割入金に対応されていること。	
2-8-4	収納処理業務	預かり金を登録可能であること。	
2-8-5	収納処理業務	合計未収金額、合計預かり金額が表示出来ること。	
2-8-6	収納処理業務	請求書を作成出来る機能を有すること。	
2-8-7	収納処理業務	請求書の印刷枚数は予め設定可能であること	
2-8-8	収納処理業務	請求期間を指定する事により合算請求書を作成出来ること。	
2-8-9	収納処理業務	請求日付と入金日付を別に管理出来ること。	
2-8-11	収納処理業務	請求書の再発行が出来ること。	
2-8-12	収納処理業務	退院請求書の発行時に、月をまたいだ請求期間で1枚の請求書を作成することが可能であること。	
2-8-13	収納処理業務	入院定期請求は一括処理と、個別処理が選択可能であること。	
2-9-1	日報業務	保険別、科別に日計表を作成可能なこと。	
2-9-2	日報業務	患者別日計表を印刷可能なこと。	
2-9-3	日報業務	未収金日報を印刷可能なこと。	
2-9-4	日報業務	収納データ保存期間ならば日付を指定して日報を印刷可能なこと。	
2-9-5	日報業務	指定した日付の収益を科別、入外別にリアルタイムに表示可能なこと。	
2-9-6	日報業務	日報で出力されるデータがEXCEL、又はテキストデータで出力可能であること。	
3-1-1	レセプト業務	診療報酬明細書（レセプト）の作成が可能であること。	
3-1-2	レセプト業務	レセプトは社保、国保等それぞれ指定された様式に対応されていること。	
3-1-3	レセプト業務	レセプトの印刷は前処理を行わなくても、即座に印刷が可能であること。	
3-1-4	レセプト業務	レセプトの印刷は月中でも印刷が可能であること。	
3-1-5	レセプト業務	レセプト印刷は複数端末、複数プリンタに対応されていること。	
3-1-6	レセプト業務	労災及び自賠責レセプトに対応されていること。	
3-1-7	レセプト業務	一般レセプトはレセプトの枠まで印刷可能な機能を有すること。	
3-1-8	レセプト業務	レセプト印刷の指示は入外、用紙番号、科、患者番号、の印刷順指定が可能なこと。	
3-1-9	レセプト業務	レセプトの件数が判断可能な、レセプト一覧表の作成が可能であり、患者別にも出力可能で、レセプトが出力された後に会計が修正されたかどうかの判断が出来る印がつくこと。	
3-1-10	レセプト業務	レセプトの点検用に院外処方した投薬情報も印刷可能であること。	
3-1-11	レセプト業務	一定額以上の高額レセプト患者の高額レセプト日計表が出力可能なこと。	
3-1-12	レセプト業務	提出不要なレセプトの保留が行えること。保留解除も可能なこと。	
3-1-14	レセプト業務	退院した患者は患者番号を指定する事により、随時レセプトが発行可能なこと。	
3-1-15	レセプト業務	リハビリの実施日数を自動的に印刷出来ること。	
3-1-16	レセプト業務	手術、処置などはコメントを入力しなくとも診療日を印刷出来ること。	
3-1-19	レセプト業務	日々の入力においてレセプト電算提出データの自動作成が可能であり、月末月初の提出データ作成処理を必要としないこと	
3-1-20	レセプト業務	レセプト電算提出データを自動作成した場合のエラー内容を管理する画面を有すること	
3-1-21	レセプト業務	レセプト電算ファイルの作成で、未編集及び修正を加えたレセプトのみを編集する機能を有すること	
3-1-22	レセプト業務	審査支払機関側での受付チェックと同等のチェックを行う機能を有すること	

項番	業務名	要求仕様	備考
3-1-23	レセプト業務	症状詳記登録において、「治験に係る治験概要」「疾患別リハビリテーションにかかわる治療継続の理由等」の登録が行えること	
3-1-24	レセプト業務	レセプト電算ファイル作成時に、患者病名に「未コード化傷病名」が記録された割合を画面表示できること	
3-1-25	レセプト業務	提出用のレセプト電算媒体からレセプト印刷が可能であること	
3-1-27	レセプト業務	レセプトオンライン請求時、返戻データの取り込みが可能であること。また、返戻理由等の詳細を医事システム上で確認できること	
3-1-28	レセプト業務	返戻レセプト分のみのレセプト電算ファイルの編集が可能であること	
3-1-29	レセプト業務	レセプトオンライン請求システムの「送信データ集計表」に準拠した帳票を印刷可能なこと。	
3-1-34	レセプト業務	5者併用のレセプト電算請求ができること。	
3-2-1	総括表業務	レセプト印刷されたデータをもとに指定された様式で、診療報酬請求書（総括表）が印刷可能なこと。	
3-2-2	総括表業務	患者別の診療報酬点数が確認修正が可能なこと。	
3-2-3	総括表業務	返戻・保留などの管理が出来ること。	
3-2-4	総括表業務	総括表で出力されるデータがEXCEL、又はテキストデータで出力可能であること。	
4-1-1	その他業務	氏名カルテ情報、保険情報、来院情報、入院情報、病名情報、薬剤・行為情報などにより対象患者の検索及び、患者台帳の作成が出来ること。	
4-1-2	その他業務	行為・薬剤情報及びその回数数量を条件指定して、対象となる患者を抽出可能であること。	
4-1-3	その他業務	患者台帳の印刷項目を選択可能であること。	
4-1-4	その他業務	未収金額の範囲及び預かり金額の範囲を条件指定して、対象となる患者を抽出可能であること。	
4-1-5	その他業務	抽出した患者のデータをDM（ダイレクトメール）や葉書の形式に印刷可能であること。	
4-2-1	その他業務	薬価改正毎に世代別に点数マスタ、セットマスタ、システムマスタを管理可能なこと。また、世代数に制限が無いこと。	
4-2-2	その他業務	点数マスタの印刷、病名マスタの印刷が可能であること。	
4-2-3	その他業務	セットマスタの登録が行えること。セットの複写機能も備えていること。	
4-2-4	その他業務	伝票マスタの登録が行えること。	
4-2-5	その他業務	レセプト電算に対応する標準提供点数マスタ、標準提供病名マスタを有すること。	
4-2-6	その他業務	標準提供マスタより容易に抜き取りが可能であること。	
4-2-7	その他業務	包括行為に含まれる設定が可能であること。	
4-2-8	その他業務	バックアップ処理は診療行為入力中でも行えること。	
4-2-9	その他業務	バックアップ対象データを選択可能なこと。	
4-2-10	その他業務	月別に会計データをバックアップ可能なこと。	
4-2-11	その他業務	月次、日次ごとに退避する内容を設定でき、日々の退避時間を短縮することが可能なこと。	
4-2-12	その他業務	データを復元出来る機能を有すること。	
4-2-13	その他業務	バックアップ終了後、コンピュータを自動的に終了することが可能なこと。	
4-2-14	その他業務	保険証によるオンライン資格確認を行った患者の保険情報を取り込めること。	
5-1-1		医事システムPC スタンドアロン構成とする。	
5-1-2	PC機能要件	CPU:Core i5 3.4GHz 以上	
5-1-3	PC機能要件	DISK容量:512GB 以上	
5-1-4	PC機能要件	メモリ:16 GB 以上	
5-1-5	PC機能要件	モニター:解像度 1920×1080(FULLHD) 以上	
5-1-6	PC機能要件	OS Windows11 Professional	
5-1-7	PC機能要件	MS Word2024・Excel2024 各1本	
		プリンタ・周辺機器関連	

処方チェックシステム（ハード更新）要件仕様 *日野病院

項番	業務名	要求仕様	備考
1-1	前提要件	当院で利用している処方チェックシステム（Preforum-I タカゾノ社製）サーバを新サーバに移行し電子カルテとの連携を実現する。	
1-2	前提要件	連携接続する電子カルテシステムは、現行で利用のHOPE/Lifemark-MXとする。	
1-3	前提要件	既存システムからマスタを含む全データを移行できること。既存システム側の抽出費用も含め、データ移行に関する全ての費用を本調達に含めること。	
1-4	前提要件	納入予定のサーバ及びUPSには、5年間の平日対応の保守費用を一括した金額を入札額に含めること	
1-5	前提要件	サーバ及びクライアント・周辺機器の設置に関わる費用は全て本調達費用に含めること。	
1-6	前提要件	設置に関わるフロアHUB及びフロア内のLANケーブル等は、本調達費用に含めること。	
1-7	ハード要件	処方チェックサーバ1台（形状はラック搭載型）UPS1台を調達する。機能要件は以下の通りとする。	
1-8	PC機能要件	CPU：Xeon [®] プロセッサ E-2324G（3.10GHz/4コア/8MB）以上	
1-9	PC機能要件	HDD：600GB RAID1構成 以上	
1-10	PC機能要件	メモリ：16GB 以上	
1-11	PC機能要件	Windows Server 2022 Standard	
1-12	PC機能要件	UPS装置（サーバ用）1200VA 以上	

検体検査システム要件仕様

項番	機能要件
H.1	基本的要件
H.1.1	医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(以下、「ガイドライン」と言う)と大規模災害対策
H.1.1.1	病院情報システム(以降HISと表記する)がダウンした際も検査運用が停止しない依頼書・報告書による単独稼働が可能なシステムであること。
H.1.2	法令準拠
H.1.2.1	2018年12月医療法の一部改正について対応を実装していること。(測定作業日誌対応含む)
H.1.3	ガイドライン要件
H.1.3.1	正確な情報保存の為、検査システムの日付・時刻は当院が指定するサーバと同期すること。
H.1.3.2	個人情報扱うシステムとなるため、ISMS認証、Pマーク認証等 個人情報保護に関する第三者認証を受けていること。また、検体検査システム構築を委託する場合であっても、応札者同等の責とすること。
H.1.3.3	遠隔保守
H.1.3.3.1	訪問保守・遠隔保守を問わず、医療情報システムの安全管理に関するガイドライン最新版に準拠し、以下の資料提出の上許可する。また、資料については、応札後、直ちに提出すること。
H.1.3.3.2	導入・保守運用管理運営図(当院関係職員と、導入・保守会社担当者名等、再委託先を含む関係者の明示)
H.1.3.3.3	保守運用手順書(当院に対し、無許可接続ができないこと。)
H.1.3.3.4	保守会社の安全管理体制を、組織(人的・施設基準)証明する資料一式
H.1.3.3.5	保守会社の第3者機関による安全性を証明する資料一式
H.1.3.3.6	保守通信機器・通信手段の安全性を証明する資料一式
H.1.3.3.7	当日あるいは翌日の診療に影響が予想される障害等には、24時間対応し修復すること。
H.1.3.3.8	保守・故障や障害発生時において、迅速な対応を行うため、対応要員2名以上による、24時間の遠隔サポート体制を有すること。
H.1.3.3.9	保守会社においては、当院との包括契約の締結および、回線の保全・通信機器のファームウェア最新化の責を負うこと。ただし、当院が提供する通信回線を利用する場合は、この限りではない。
H.1.3.4	耐障害性
H.1.3.4.1	業務端末故障に備え、全ての端末機能は共通であること。また、故障切換え操作は、当院職員が即座に行えること。
H.1.3.4.2	検査装置との接続は機器増設や設置場所、端末台数、端末障害時に問題にならないよう、制御端末への直接ケーブル接続ではなく、ネットワーク経由による集中管理とし、宿直・日直・輪番等、1～2台の端末でのオンライン運用を可能とすること。又、機器連携する端末の故障時には、メニュー切換えにより他端末へ変更できること。
H.1.3.4.3	HISとの連携においてソフトウェアが正常動作していない場合は、複数の端末にエラー通知すること。通知画面はどの画面を操作している場合にも優先表示すること。
H.1.3.4.4	全データを対象にバックアップ処理が自動にて行え、3世代以上のバックアップ管理とリストアができること。また、ランサムウェアに対する対策、大規模災害対策を提示できる場合は、その方法を明示し、書類添付すること。
H.1.3.4.5	バックアップ中であっても業務に支障なく動作すること。
H.2	ハードウェア
H.2.1	メインサーバー、I/F兼用サーバでの構成とすること。 (OS:Win Server 2022 CPU:Xeon E-2436 2.9GHz メモリ:32GB HDD:600GB RAID5構成 NIC:1000BASE-T) 同等以上の性能を有すること。

項番	機能要件
H. 2. 2	処理検体数に合わせ、10年以上のデータを常時参照可能なサーバディスク容量での提案とすること。 年数経過によるレスポンス低下や容量不足が発生した場合は、病院と協議の上、機能追加を行うこと。 当該機能追加については、今契約内とし追加費用は認めない。
H. 2. 3	OSの自動終了ソフトウェアを有する無停電電源装置を装備すること。
H. 2. 4	仮想化技術により、サーバを仮想化基盤に集約する場合でも、H. 2. 1から4を堅持すること。
H. 2. 5	検査クライアント（デスクトップ型） 電子カルテ相乗りを含む5台以上。 （OS:Win11-Pro CPU:Corei5 メモリ:16GB HDD:250GB NIC:1000BASE-T モニタ:23インチ液晶以上 Microsoft Office personal)同等以上の性能を有すること。 なお、Microsoft Officeに関して、プレインストールである場合は、マイクロソフトが提供するLTSC（Long Term Servicing Channel 特定の分野の企業向けのサービスチャネル）とする。 また、当院が示すMicrosoftOfficeライセンスの提供方針に従って別途調達した場合はライセンスに従いインストール作業を行うこと。
H. 2. 6	レーザープリンタ、電子カルテ相乗りを可とする 2台以上 （モノクロ、A4、ネットワークインターフェース、設計においてHIS相乗りを許可）
H. 2. 7	バーコードプリンタ 2台以上 （サーマル、ネットワークインターフェース/サトー・小林クリエイト製とする）
H. 2. 8	ハンディバーコードリーダー 検査内：3本以上 （USBインターフェース、レーザー式、1次元対応）
H. 2. 9	据え置きバーコードリーダー 1台以上 （USBインターフェース、レーザー式、2次元対応）
H. 3	システムソフトウェア機能要件
H. 3. 1	基本要件
H. 3. 1. 1	HISからの検査依頼情報を受信し、結果情報を遅滞なく返信できること。
H. 3. 1. 2	測定検査装置より、パニックデータを取得した場合、複数の端末にエラー通知すること。 通知画面はどの画面を操作している場合にも優先表示すること。
H. 3. 1. 3	測定検査装置より、管理検体の設定範囲を超えたデータを取得した場合、複数の端末にエラー通知すること。 通知画面はどの画面を操作している場合にも優先表示すること。
H. 3. 1. 4	引き継ぎなど、お知らせ(掲示板)機能を有し、全ユーザや、個人ごとに通知できること。 また、管理者が、履歴・既読の管理が可能であること。
H. 3. 1. 5	受付ラベル発生時より到着時間までの管理が行え、指定時間を超過した場合の色分け表示を行い、経過時間が大幅に遅延した場合は、ポップアップで、警告表示すること。
H. 3. 1. 6	身長・体重・蓄尿量・時間など依頼時に記載されている結果情報は依頼入力時に同時入力が行え、検査結果の自動演算に反映すること。
H. 3. 1. 7	バーコード読取装置を保有する検査装置については依頼・結果の通信時に自動で検体到着確認が行えること。
H. 3. 1. 8	手動で検体到着確認を行う場合には、検査装置での自動検体到着確認との併用実行が可能であり、到着漏れを防止すること。
H. 3. 1. 9	検査進捗画面内でHISへの送信状況が確認可能であること。
H. 3. 1. 10	各検査装置との連携において依頼時間（依頼情報送信時間）・結果時間（結果取込時間）の取込と表示を各検査データとともに表示が可能であること。
H. 3. 2	管理・通知機能

項番	機能要件
H. 3. 2. 1	ユーザごとにログインID/パスワードの管理ができること。また、令和9年時の、2要素認証に対応しこれにかかるソフトウェア作成費用についても含むこと。 ただし、作業費・必要ハードウェア購入費については、免除する。
H. 3. 2. 2	ユーザIDごとにアプリケーションの利用制限ができること。
H. 3. 2. 3	マスタ更新などを行った場合に各端末に通知を行い、最新マスタの取込を促す機能を有すること。
H. 3. 2. 4	業務画面の利用中は、業務画面を閉じるこ無く(初期画面等に戻らず)ユーザ変更ができること。
H. 3. 2. 5	離席の際に画面をワンタッチにてロックすることができること。
H. 3. 2. 6	一定期間無操作の場合、自動的に画面をロックすること。時間設定は、任意に変更できること。
H. 3. 2. 7	各マスタ入力・修正・削除、受付登録、結果画面では、各項目ごとにデータ修正・削除の履歴保存ができること。
H. 3. 2. 8	履歴保存されたデータは、当院管理者が参照ができること。
H. 3. 2. 9	メニュー画面は各端末やユーザごとに頻繁に利用するショートカットメニューなどがユーザにて簡単に設定ができること。
H. 3. 3	マスタメンテナンス
H. 3. 3. 1	各マスタは全て世代管理が可能であること。
H. 3. 3. 2	登録検査項目数は999, 999項目以上であること。
H. 3. 3. 3	項目コードは6桁以上が可能であること。
H. 3. 3. 4	項目コードの6桁は運用により任意に設定が可能であること。
H. 3. 3. 5	患者属性保存件数は99, 999, 999件以上であること。
H. 3. 3. 6	患者を特定するIDは20桁以上の入力に対応していること。
H. 3. 3. 7	科マスタの保存件数は9, 999件以上であること。
H. 3. 3. 8	病棟マスタの保存件数は9, 999件以上であること。
H. 3. 3. 9	医師マスタの保存件数は99, 999, 999件以上であること。
H. 3. 3. 10	医師マスタの入力コードは院内通信番号などを利用できるよう、10桁以上に対応していること。
H. 3. 3. 11	端末障害時に備え、全ての機能は全端末にて行えること。
H. 3. 3. 12	ラベル、報告書、ワークシート、台帳等、全ての帳票デザインの作成についてはEXCEL等により背景色や文字色、デザイン、挿絵など自由にユーザにて作成や編集が可能であること。
H. 3. 4	検査受付業務
H. 3. 4. 1	検査依頼データの登録/修正/削除等は業務を考慮し全てキーボードでの操作ができること。
H. 3. 4. 2	真正性の確保の為、削除を行った受付/項目の表示が可能であること。又、削除の取り消しにより依頼内容の復帰が可能であること。
H. 3. 4. 3	1日の受付数は、最大99, 999受付まで登録ができること。
H. 3. 4. 4	1受付に対し、子項目を含め最大999項目まで受付ができること。
H. 3. 4. 5	コメントは1受付に対し、依頼コメント(コード用/フリー入力用)、各報告書用コメント(コード用、フリー入力用)を有すること。
H. 3. 4. 6	受付時にテスト受付、時間外など選択識別が可能であること。
H. 3. 4. 7	検体を管理する日付以外に採取日を入力できること。
H. 3. 4. 8	入力された採取日付は上位システム、報告書などに反映できること。
H. 3. 4. 9	24時間形式で採取時刻を打刻すること。 また、時刻無効の設定も可能であること。
H. 3. 4. 10	入力された採取時刻は上位システム、報告書などに反映できること。
H. 3. 4. 11	入・外区分は入院、外来/入院中外来に対応し入力が行えること。
H. 3. 4. 12	科・病棟はコード入力、ガイド入力が行えること。

項番	機能要件
H. 3. 4. 13	病室の入力が行えること。
H. 3. 4. 14	医師マスタのコードはマスタコードと入力(表示)コードをそれぞれ保持すること。 例) 院長の利用(表示)コード「1」。
H. 3. 4. 15	不要となった医師マスタは、ガイド入力などの画面上で非表示すること。
H. 3. 4. 16	透析区分(透析前・透析中・透析後)の入力が行え、データ判定の前回値チェックに利用できること。
H. 3. 4. 17	患者ID入力時に前回依頼日付と受付番号が表示されること。又、当日に受付が存在する場合は追加と新規の選択ができるよう注意メッセージの表示が可能であること。
H. 3. 4. 18	IDの無い患者登録にも対応できること。
H. 3. 4. 19	仮IDで入力し検査実施後、本IDの登録が可能であること。
H. 3. 4. 20	外部施設での患者IDや社員IDを使用しての前回値、時系列参照が可能であること。(施設が異なる場合には同IDが使用でき、複数医療機関への対応が可能であること)
H. 3. 4. 21	患者ID入力時に前回依頼元、担当医が自動的にセットされること。又、以前に検査された血液型、感染症等の患者補足情報の表示ができること。又、その補足情報項目の設定はユーザにて任意に行え自動にて関連づけができること。
H. 3. 4. 22	患者氏名の入力時には漢字変換入力された時点でカナ氏名が自動的に振られること。生年月日入力時に年齢の自動計算が行えること。又、年齢のみの入力にも対応していること。
H. 3. 4. 23	セット項目での登録時には各項目の展開表示・非表示が設定できること。
H. 3. 4. 24	セット項目での登録時に項目を展開しない場合はワンタッチで展開項目の表示が行え確認できること。
H. 3. 4. 25	セット項目入力後にセット中の単項目削除が行え、削除項目が視認できること。
H. 3. 4. 26	依頼時のコードコメントが登録でき、フリーコメント(最大50文字)も登録できること。
H. 3. 4. 27	受付単位で通常、緊急、至急検体の指定が行え、項目単位での緊急指定にも対応していること。
H. 3. 4. 28	コード選択の場合、マスタの一覧がキーボード・マウスより簡単に呼び出せること。
H. 3. 4. 29	項目の表示画面では項目毎に材料の情報が項目名とは別記載にて認識でき、材料のみの変更が可能であること。 例) AMYを入力し材料を「血清」から「尿」に変更すると尿AMYに自動変換
H. 3. 4. 30	項目コードは以下複数の入力コードを設定し呼び出し入力ができること。
H. 3. 4. 30. 1	院内検査項目コード
H. 3. 4. 30. 2	各外注検査会社の要覧コード
H. 3. 4. 30. 3	JLAC10コード(日本臨床検査医学会推奨 臨床検査項目分類コード)
H. 3. 4. 31	項目の検索は以下の条件で行えること。
H. 3. 4. 31. 1	各検査分類毎での絞り込み検索
H. 3. 4. 31. 2	各外注検査会社毎での絞り込み検索
H. 3. 4. 31. 3	文字の先頭一致検索
H. 3. 4. 31. 4	文字の部分一致検索
H. 3. 4. 31. 5	正式項目名称での検索
H. 3. 4. 32	項目入力毎に包括点数対応の点数計算自動で行え表示される機能を有すること。また、後に一括集計も行えること。
H. 3. 4. 33	受付登録画面と結果入力画面は双方に1キーで画面遷移できること。
H. 3. 4. 34	受付番号を範囲指定し受付の一括作成機能を有すること。コピー内容は緊急区分、依頼元、Dr、コメント、検査項目など選択が可能であること。
H. 3. 4. 35	受付登録時には自動にて受付番号が繰り上がること。又、各端末設定にて番号範囲など設定が行えること。
H. 3. 4. 36	受付番号の付番ルールは各部門毎(生化学・血液・尿など)での自動採番にも対応していること。
H. 3. 4. 37	身長・体重・蓄尿量・時間など依頼時に記載されている結果情報は依頼入力時に同時入力が行え、検査結果の自動演算に反映され利用が可能であること。

項番	機能要件
H. 3. 4. 38	検体バーコードラベルの発行機能が備わっており、登録時に出力の有無を任意に選択可能であること。
H. 3. 4. 39	連休を考慮した予約受付に対応できること。
H. 3. 5	検体到着
H. 3. 5. 1	検体バーコードを利用した検体到着確認が行えること。
H. 3. 5. 2	検体到着時に分注バーコードラベルの発行が行えること。出力分注ラベルの指定はユーザの指定により端末単位にて切替が可能であること。
H. 3. 5. 3	受付時、到着時、利用端末、依頼元別の組み合わせで、ラベル（容器）毎に出力プリンタは設定にて自動出力が可能であること。
H. 3. 5. 4	到着済検体、未到着検体を一覧表示する画面を有すること。
H. 3. 5. 5	検体毎での検査項目情報など詳細情報の確認が可能であること。
H. 3. 5. 6	同一オーダの他検体の未到着・到着済の状況が色分け表示などで簡単に確認が可能であること。
H. 3. 5. 7	バーコードが無い場合に一覧画面より選択し強制到着確認が可能であること。
H. 3. 5. 8	検体が未採取となった場合、検査中止の指示を検体単位にて一括で実施することが可能であること。
H. 3. 6	検査準備業務
H. 3. 6. 1	検査依頼情報により以下のワークシートの作成／発行ができること。指示は複数一括指定ができること。また、プレビュー機能を有すること。
H. 3. 6. 1. 1	。検査装置オンライン用
H. 3. 6. 1. 2	。用手法用(多項目)最大200項目
H. 3. 6. 1. 3	。用手法用(複項目)前回値・前回日付
H. 3. 6. 1. 4	。用手法用(単項目)前回値・前回日付
H. 3. 6. 2	各ワークシートのデザインはユーザで編集可能なExcelなどのツールを用い、用紙サイズ、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更ができること。
H. 3. 6. 3	各検体ラベルごとに文字サイズ、縦横等のデザインの設定を変更できること。また、各ラベルごとに出力場所を設定し検体バーコードラベルを自動発行できること。
H. 3. 6. 4	ラベル印字情報はID、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、性別、日付、オーダ番号、受付番号、依頼元、依頼医、依頼コメント、採血管名、材料、ラベル名、負荷時間、採取量、分注量、外注先、検査グループ、測定検査装置名、項目名、バーコード情報等が設定できること。
H. 3. 6. 5	採取、分注ラベルの量の印字は採血量固定・項目ごと加算・最低量+項目ごと加算など設定ができること。
H. 3. 6. 6	バーコードリーダーにて検体バーコードを読込ませ同ラベルを再発行する機能を有すること。
H. 3. 6. 7	精度管理用バーコードや分析装置ストップバーコードなどに利用するため、指定したIDを入力しバーコードを発行する機能を有すること。
H. 3. 6. 8	日付範囲を指定し依頼元別／受付順に採取一覧表(受付台帳)の発行ができること。セット項目、親項目内容を任意設定にて展開印字できること。また、採取ラベル情報もあわせて印字ができること。
H. 3. 6. 9	受付台帳のデザインはユーザで編集可能なExcelを用い、用紙サイズ、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更ができること。
H. 3. 7	検査結果入力
H. 3. 7. 1	検査結果の入力は以下の方法でできること。また、全ての表示結果よりCSV・Excelを選択し直接出力する機能を有すること。
H. 3. 7. 2	検査結果データは半角20文字の入力が可能であり、コードからの簡易入力もできること。
H. 3. 7. 3	コードからの簡易や選択入力の場合、各項目ごとに必要な情報のみの抽出設定ができること。
H. 3. 7. 4	受付単位結果入力(前回値、前回日)
H. 3. 7. 5	単項目結果入力(前回値、前回日)
H. 3. 7. 6	複項目結果入力(前回値、前回日)
H. 3. 7. 7	結果入力、オンラインデータ取得時にデータチェックは以下の方法でリアルタイムに表示できること。

項番	機能要件
H.3.7.7.1	◦ 各種判定は、年齢範囲、性別、依頼元ごとに設定
H.3.7.7.2	◦ 基準値チェック
H.3.7.7.3	◦ 初回値チェック
H.3.7.7.4	◦ 前回値比・差チェック
H.3.7.7.5	◦ パニック値チェック
H.3.7.7.6	◦ 分析装置アラーム(ワーニング・フラッグ)チェック
H.3.7.8	分析装置アラームなどの内容は各装置ごとに取込の有無や文字表示・アラームの段階を設定ができること。
H.3.8	精度管理
H.3.8.1	管理検体チェックができること。また、CSV・Excelを選択し直接出力する機能を有すること。
H.3.8.2	リアルタイムにてSDの範囲による色分け表示ができること。
H.3.8.3	指定日付範囲より管理数値の自動演算設定ができること。
H.3.8.4	以下の管理手法に対応できること。
H.3.8.4.1	◦ 日内X-R法管理図
H.3.8.4.2	◦ 日差X-R法管理図
H.3.8.4.3	◦ X-Rs-R法管理図
H.3.8.4.4	◦ ツインプロット
H.3.9	カウンタ
H.3.9.1	血液像カウンタ
H.3.9.1.1	血液像カウンタには、下記の血液検査で行う全ての業務が1画面にてできること。また、最大カウント値は(25、50、100～900まで自由に再設定でき、カウント途中で最大カウント数を変更できること。カウント結果と装置で測定されたデータは別に管理し、カウント後もどちらのデータを採用するか切替ができること。
H.3.9.1.1.1	◦ 患者情報(ID、氏名、生年月日、年齢、依頼元、担当医、受付コメント 等)
H.3.9.1.1.2	◦ CBC、DIFF、Reti、フラッグ情報、LD、CRP等関連項目データ、前回値
H.3.9.1.1.3	◦ 時系列表示
H.3.9.1.1.4	◦ 所見入力追加
H.3.9.1.1.5	◦ コメント、鏡検者の入力と前回データ
H.3.9.1.1.6	◦ 血液疾患情報の表示と追加入力
H.3.9.1.2	各項目のカウント項目は任意のキーを設定できること。また、カウント音は項目ごとに変更ができること。
H.3.9.1.3	カウント数の直接入力にも対応できること。
H.3.9.1.4	カウントの途中中断に対応できること。また、再度呼び出しにより中断後より継続カウントができること。
H.3.9.1.5	複数人によるカウントを行い、カウント結果の比較と最終選択ができること。(再検機能)
H.3.10.1	尿沈査カウンタ
H.3.10.1.1	尿沈査カウンタ入力画面へは進捗管理画面からの直接遷移ができること。
H.3.10.1.2	尿沈査カウンタの該当受付は、日付、患者IDなどの検索ならびに検体ラベルのバーコードを読み取りによる検索ができること。
H.3.10.1.3	尿沈査入力画面は、専用カウンタキーボードによる沈査項目、結果の1操作入力ができること。 また、下記の尿検査で行う全ての情報が1画面にて参照や登録し、任意に便検査などの項目も同時入力すること。
H.3.10.1.3.1	◦ 患者情報
H.3.10.1.3.2	◦ 尿定性データ(前回値、前回日)
H.3.10.1.3.3	◦ 時系列表示
H.3.10.1.3.4	◦ コメント入力
H.3.10.1.3.5	◦ 沈査項目の追加、データの入力

項番	機能要件
H. 3. 10. 1. 3. 6	。分析装置・目視、2つの結果を保持し、報告する結果を選択できること。
H. 3. 11	進捗状況管理業務
H. 3. 11. 1	未検査、再検中、再検済、基準値チェック (Low、High)、前回値比チェック、パニック値チェック、分析装置アラームチェックの表示を記号・文字など色分け表示ができること。
H. 3. 11. 2	項目単位にて検査装置からのデータ取込時に各データチェック判定時の自動承認機能を持つこと。
H. 3. 11. 3	項目グループ単位にて検査装置からのデータ取込時に各データチェック判定時のグループ自動承認機能を持つこと。
H. 3. 11. 4	項目単位にて検査装置からのデータ取込時に各データチェック判定時の自動再検機能を持つこと。
H. 3. 11. 5	項目グループ単位にて検査装置からのデータ取込時に各データチェック判定時のグループ自動再検機能を持つこと。
H. 3. 11. 6	進捗状況画面は自動更新が可能なこと。また、画面更新時間は端末ごとに任意設定できること。
H. 3. 11. 7	進捗状況項目の設定は複数のオンライン機器項目や用手法項目を一括して管理できる様、マスタにて任意作成が可能で各端末単位にて選択変更が随時できること。
H. 3. 11. 8	進捗状況画面より検査結果の確認、修正入力ができること。また、同画面より画面を切替えることなく時系列の参照ができること。
H. 3. 11. 9	時系列の表示は表示部門ごとより全部門への切替が同画面上よりできること。
H. 3. 11. 10	進捗状況画面より他分野の検査結果は参照表示のみとし修正が行えないように設定ができること。
H. 3. 11. 11	同画面内より全項目、選択項目の再検指示が行え登録検査結果の選択が項目単位で任意にできること。
H. 3. 11. 12	再検結果については消去すること無く検査データと同様の保存期間であること。また、各項目ごとに何回目の再検データを選択し報告したかの確認がユーザにてできること。
H. 3. 11. 13	再検指示時には「再検済」などのコメントの自動追加の設定が各検査装置ごとにできること。また、入力コメントの修正もできること。
H. 3. 11. 14	進捗状況画面内で緊急報告書出力状況が確認できること。
H. 3. 11. 15	進捗状況画面内で最終報告書出力状況が確認できること。
H. 3. 11. 16	進捗状況画面内でHISへの送信状況が確認できること。
H. 3. 11. 17	各検査装置との連携において依頼時間(依頼情報送信時間)・結果時間(結果取込時間)の取込と表示を各検査データとともに表示ができること。
H. 3. 11. 18	1オーダーに対しての検査結果データが確認済に関しては非表示となり、未検査や未確認データのみを表示とすること。
H. 3. 11. 19	時間経過を監視し、各検査分野ごとに指定時間を超過した場合の色分け表示ができること。
H. 3. 11. 20	受付ラベル発生時より到着時間までの管理が行え、指定時間を超過した場合の色分け表示を行い、経過時間が大幅に経過した場合にはポップアップにて状態を表示できること。
H. 3. 11. 21	到着時間から報告時間(上位がある場合は院内全項目送信)までの管理が行え、指定時間を超過した場合の色分け表示できること。
H. 3. 11. 22	到着時間から緊急書出力(FAXを含む)時間(報告書ごと)までの管理が行え、指定時間を超過した場合の色分け表示できること。
H. 3. 11. 23	受付番号順、検体到着順など並び替えができること。
H. 3. 11. 24	再検検査結果の手入力が可能であり、複数回の保存と確認ができること。
H. 3. 11. 25	結果に対してのコメントは2種以上登録ができること。
H. 3. 11. 26	結果表示画面での検査項目の並び順はマスタにて設定変更ができること。
H. 3. 11. 27	表示順番は条件設定にて未承認、未検査、緊急項目など絞り込みや並び替えができること。
H. 3. 11. 28	受付ごとの受付、到着、測定開始、測定結果、報告など時間情報は結果画面より簡易TATの表示が即座にできること。
H. 3. 11. 29	受付別データ入力画面の院内項目と外注項目を、色により表示管理できること。
H. 3. 12	検査報告業務
H. 3. 12. 1	検査結果報告書は複数日の範囲指定ができ、依頼元、受付番号順の切替により中間・最終報告書が発行できること。
H. 3. 12. 2	報告書類ごとに出力先のデフォルト設定ができること。
H. 3. 12. 3	緊急検査報告書レイアウトはA5、A4白紙用紙を任意に選択でき項目名、基準値、データ、等を印字できること。

項番	機能要件
H. 3. 12. 4	緊急報告書のデザインはユーザで編集可能なExcelなどのツールを用い、用紙サイズ、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更ができること。
H. 3. 12. 5	緊急検査報告書は緊急項目が確認済になった時点で自動的に依頼元ごとに設定されたプリンタに出力されること。また、同画面より強制的に出力先の変更ができること。
H. 3. 12. 6	報告書出力レイアウトの変更は、用紙サイズ／印字内容／字数 等 任意に設定でき、バックアップやリストア機能も有すること。
H. 3. 12. 7	報告書のデザインはユーザで編集可能なExcelなどのツールを用い、用紙サイズ、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更ができること。
H. 3. 12. 8	報告書の発行状況、緊急報告書出力状況は画面にて確認できること。
H. 3. 12. 9	検査台帳の発行ができること。
H. 3. 12. 10	受付台帳のデザインはユーザで編集可能なExcelなどのツールを用い、用紙サイズ、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更ができること。
H. 3. 13	集計・統計
H. 3. 13. 1	日報／月報／年報の作成ができること。また、CSV・Excelを選択し直接出力する機能を有すること。
H. 3. 13. 2	時間外検査の日報／月報／年報の作成ができること。また、CSV・Excelを選択し直接出力する機能を有すること。
H. 3. 13. 3	集計単位(外来／入院／健診／研究 等)は任意に設定できること。
H. 3. 13. 4	日付範囲、緊急区分、科・病棟、Dr、項目、検査結果などユーザの任意設定にて統計抽出ができること。また、抽出結果はエクセル等の表計算ソフトウェアに出力できること。
H. 3. 13. 5	集計・統計表のデザインはユーザで編集可能なExcelなどのツールを用い、用紙サイズ、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更ができること。
H. 3. 13. 6	通常統計とは別項目グループを作成し統計作成ができること。
H. 4	システム連携
H. 4. 1	各種分析装置連携
H. 4. 1. 1	外部出力インターフェースを有する指定の検査装置について接続が可能であること。又、システム構築までに同等機種への変更がある場合には無償にて対応ができること。
H. 4. 1. 2	当機構が保有する以下分析装置と接続すること。 TBA-1500FR ・ Vitros ECiQ ・ XN-1000 ・ HLC-723G11 ・ AE-4070
H. 4. 1. 3	バーコード読取装置を保有する検査装置については依頼・結果の通信時に自動で検体到着確認が行えること。
H. 4. 1. 4	手動で検体到着を行う場合には、検査装置を選択して併用実行が可能であり到着漏れを防止すること。
H. 4. 2	HIS連携
H. 4. 2. 1	HISより検体検査（生化学・血清・免疫・血液・尿一般等）の依頼データ受信が行えること。
H. 4. 2. 2	オーダー受付時に採取用バーコードラベル発行が行えること。
H. 4. 2. 3	オーダー受付の際には採血者の表示／登録、採血時専用のコメント（歩行困難、採血困難、VIP 等）、20文字程度のフリーコメントの表示／登録が可能であること。
H. 4. 2. 4	オーダー受付時、又は検体到着時に会計算定情報の送信が行えること。送信の有無や入院・外来による送信タイミングはユーザにて決定し自動で行えること。
H. 4. 2. 5	承認された検査結果を随時HISへ自動送信すること。 また、一括送信や再送信機能も有すること。
H. 4. 3	委託検査会社連携
H. 4. 3. 1	委託検査の受付を行い、MED I Sフォーマットに準拠した依頼・結果の送受信すること。
H. 4. 3. 2	委託検査会社ごとに依頼項目の一覧表印刷ができること。

項番	機能要件
H. 4. 3. 3	一覧表には日付・受付番号、患者 I D、患者名、性別、依頼コメント、項目コード、項目名、分注容器名、本数が印字されていること。
H. 4. 3. 4	外注依頼項目一覧表のデザインはユーザで編集可能な E X C E L などのツールを用い、罫線や文字サイズを含めユーザにて簡単に変更が可能であること。
H. 4. 3. 5	委託検査会社の分注ラベル出力は到着時や、外注依頼データ作成時に一括印字を行う等、変更できること。
H. 4. 3. 6	委託検査会社ごとに依頼・結果取込情報の専用画面を有し確認と依頼・結果取込フラグの解除設定が可能であること。
H. 4. 3. 7	委託検査会社ごとに結果データ取込の際、取込リストの印字・プレビュー画面の表示が行えること。
H. 4. 3. 8	委託検査会社については検査システム内取込時に自動的に HIS へ結果送信が行えること。
H. 5	データ移行
H. 5. 1	既存システムからマスタを含む全データを移行できること。既存システム側の抽出費用も含め、データ移行に関する全ての費用を本調達に含めること。

栄養管理システム要件仕様

項番	機能要件
1	機能全般
1 1	標準で以下の機能をサポート。
1 1 1	食数管理機能
1 1 2	献立管理機能
1 1 3	個人献立機能
1 1 4	クックチル機能
1 1 5	栄養管理機能
1 1 6	選択食機能
1 1 7	発注・納品・在庫管理機能
1 1 8	N S Tサポート機能
1 1 9	月報機能
1 1 10	マスタメンテナンス機能
1 2	全ての操作に統一性があり、マウス操作で簡単に入力が可能。
1 2 1	操作に関するログの記録が可能。
1 3	患者指定はID検索やカナによる検索が可能。
1 4	各マスタからの選択は、検索画面が表示され、容易に検索・選択が可能。
1 5	1 台の端末で複数の機能（帳票印刷）が同時に起動・出力出来る
1 6	データを複数年保存しても、処理速度に影響せず、献立コピーや月次処理が行える。
1 7	帳票出力は以下の通り。
1 7 1	出力範囲・出力部数・出力先の指定が随時可能。
1 7 2	縮小印刷（A 3⇒A 4）が可能。
1 7 3	全ての帳票がプレビューで確認可能。
1 8	保守支援体制は以下の通り。
1 8 1	障害発生時は迅速に対応出来るサポート体制を実現。
1 8 2	リモートメンテナンスによる保守・障害対応。
1 8 3	2 4時間3 6 5日、専任S Eが電話対応。
1 8 4	出張対応時は、人件費及び旅費の必要経費を提示。
1 9	データ移行については、以下の通り。 ※移行データはご提供頂けることが前提。
1 9 1	献立データについては移行可能。
1 9 2	献立に関するマスタも移行可能。 ※食品（栄養成分含む）・料理・食種、業者マスタ、単価情報
1 9 3	献立データは稼働前に最新の情報も移行可能。
1 9 4	主食やコメント等のマスタは電子カルテ側から提供されたものを移行可能。
1 10	基幹システム連携（食事オーダー）
1 10 1	食事オーダーの情報を連携可能。 ※患者情報・移動情報・食事情報
1 10 2	食事オーダー情報（患者情報）から、以下の情報を取得。 ・患者ID ・患者氏名 ・患者カナ氏名 ・性別 ・生年月日
1 10 3	食事オーダー情報（移動情報）から、以下の情報を取得。 ・入院情報 ・退院情報 ・転棟転科情報（担当医変更） ・外出外泊情報 ・転室情報
1 10 4	食事オーダー情報（食事情報）から、以下の情報を取得。 ・主食 ・副食（食種） ・コメント（飲物・禁止・アレルギー・付加） ・濃厚流動食 ・食事病名
1 10 5	主食やコメントによる食種の変換に対応。
1 10 6	主食が絶食の場合、食種を絶食に変換可能。 ※昼のみ絶食を1オーダーで対応。
1 10 7	オーダーされたコメントにより、食品の付加（栄養補助食品・飲物）が可能。また、栄養計算や発注数にも反映。
1 10 8	オーダーされた主食により、患者毎の献立を変換可能。

項番				機能要件
1	11			基幹システム参照 (DWH参照) ※DWH参照が可能なことが前提。
1	11	1		患者プロファイル情報から、アレルギー情報を参照可能。
1	11	2		検査結果情報から検査結果を参照可能。
1	11	3		注射実施情報から輸液情報を参照可能。
1	11	4		看護体温表から喫食率 (朝昼夕の主食・副食) を参照可能。
1	12			基幹システム連携 (栄養指導)
1	12	1		栄養指導オーダー情報 (患者情報) から、以下の情報を取得。 ・患者ID ・患者氏名 ・患者カナ氏名 ・性別 ・生年月日
1	12	2		栄養指導オーダー情報 (指示情報) から、以下の情報を取得。 ・指導食種 ・依頼日 ・予約日 ・予約時間 ・初回/継続 ・入院/外来 ・個人/集団
1	12	3		栄養指導オーダー情報 (実施情報) から、以下の情報を取得。 ・実施日 ・初回/継続 ・入院/外来 ・個人/集団 ・実施栄養士
1	12	4		栄養指導報告書が作成可能。
1	12	5		栄養指導件数が集計可能。
2				機能詳細
2	1			食数管理機能
2	1	1		食事箋データの管理が可能。 食事変更・移動・コメント変更が1画面で可能。
2	1	1	1	食事箋日・食別 (朝昼夕)
2	1	1	2	移動情報 ・転棟転科、転室 ・外出外泊
2	1	1	3	食種 (朝・昼・夕)
2	1	1	4	主食 (朝・昼・夕)
2	1	1	5	加算情報 (朝・昼・夕)
2	1	1	6	付加食コメント (朝・昼・夕) ※50個以上。
2	1	1	7	特別指示コメント (朝・昼・夕) ※50個以上。
2	1	1	8	禁止事項コメント (朝・昼・夕) ※50個以上。
2	1	1	9	その他コメント (朝・昼・夕) ※50個以上。
2	1	1	10	フリーコメント (50文字)
2	1	1	11	移動日
2	1	1	12	病棟病室
2	1	1	13	主治医
2	1	1	14	病名
2	1	1	15	身長・体重
2	1	1	16	食事箋の履歴が時系列で一覧可能。 過去入院の情報も参照可能。
2	1	1	17	食事箋登録を補助する為、パターン入力 (マスタ登録可能) が可能。
2	1	1	18	外出外泊時、出院後に帰院を入力することで、出院前の食事が自動で継続される。
2	1	1	19	食種の変更や絶食を入力しても、コメントは継続される。
2	1	1	20	必須項目の入力チェックが可能。
2	1	1	21	入力項目の整合性チェックが可能。
2	1	1	22	上がり食のパターン登録が可能。
2	1	2		様々な条件で患者検索が可能。
2	1	2	1	食事箋の期間指定

項番			機能要件	
2	1	2	2	患者氏名・カナ氏名
2	1	2	3	性別
2	1	2	4	生年月日
2	1	2	5	年齢
2	1	2	6	病棟・病室
2	1	2	7	診療科・担当医
2	1	2	8	主食・食種
2	1	2	9	外出外泊
2	1	2	10	コメント
2	1	2	11	フリーコメント
2	1	2	12	付加食品
2	1	2	13	身長・体重
2	1	2	14	検査結果
2	1	2	15	栄養量（摂取量）
2	1	3		検索結果は任意のレイアウトに選択した項目で出力可能。
2	1	3	1	検索結果一覧表
2	1	3	2	検索結果一覧表（項目選択・Excel出力）
2	1	4		以下の帳票が出力可能。
2	1	4	1	食事箋集計表
2	1	4	2	食事箋変更一覧表
2	1	4	3	差分用食事箋変更一覧表
2	1	4	4	食事箋変更リスト
2	1	4	5	病棟別患者一覧表
2	1	4	6	コメント一覧表
2	1	4	7	コメント集計表
2	1	4	8	付加食一覧表
2	1	4	9	付加食集計表
2	1	4	10	飲物一覧表
2	1	4	11	病棟配膳表
2	1	4	12	給食日誌
2	1	4	13	フリーコメントチェック
2	1	4	14	主食配分表
2	1	4	15	濃厚流動一覧表
2	1	4	16	濃厚流動集計表
2	1	4	17	濃厚流動ラベル
2	1	4	18	予定食数表
2	1	4	19	食種集計表
2	2			献立管理機能
2	2	1		献立作成が可能。
2	2	1	1	1画面7食種表示で、スクロールにより全食種が表示可能。
2	2	1	2	1画面7日表示で、スクロールにより1か月分の1食種が表示可能。
2	2	1	3	表示中の献立の栄養価が確認可能。 ・1日分 ・朝昼夕別 ・料理別 ・食品別
2	2	1	4	栄養価は約束食事箋のデータと比較して、アラート表示可能。 少ない場合：青 多い場合：赤
2	2	1	5	食種の表示順はマウスのドラッグ&ドロップで変更可能。
2	2	1	6	食品量の確認が可能。
2	2	1	7	糖尿・腎臓鋼管表の確認が可能。
2	2	1	8	食費の確認が可能。
2	2	1	9	マウス右クリックで献立編集が可能。
2	2	1	10	複数食種の一括料理選択が可能。
2	2	1	11	一日分の詳細編集が可能。
2	2	1	12	お気に入り献立を名前を付けて保存可能。
2	2	2		献立コピーが可能。
2	2	2	1	食種毎に期間指定でコピー可能。
2	2	2	2	1食種を複数食種にコピー可能。
2	2	2	3	1食種を期間指定でコピー可能。
2	2	3		献立表が出力可能。
2	2	3	1	献立表 1食種・1日
2	2	3	2	献立表 1食種・4日
2	2	3	3	献立表 1食種・5日

項番					機能要件
2	2	3	4		献立表 3食種・1日
2	2	3	5		献立表 3食種・食別
2	2	3	6		献立表 4食種・1日
2	2	3	7		献立表 4食種・食別
2	2	3	8		献立表 6食種・1日
2	2	3	9		献立表 7食種・1日
2	2	3	10		献立表 7食種・食別
2	2	3	11		保存用献立表
2	2	3	12		病棟用献立表
2	2	3	13		患者用献立表
2	2	4			献立に使用中の料理や食品が一括変更可能。
2	2	4	1		献立使用食品一括処理（追加・変更・削除）
2	2	4	2		献立使用料理一括処理（追加・変更・削除）
2	2	5			禁食対応が可能。
2	2	5	1		禁止コメントによる料理の自動変換が可能。
2	2	5	2		禁止コメントは複数指定可能。 ※肉禁+牛乳禁
2	2	5	3		禁食対応結果を画面で確認可能。
2	2	6			以下の帳票が出力可能。
2	2	6	1		検食簿
2	2	6	2		食品別調理仕分表
2	2	6	3		調理指示表
2	2	6	4		食札
2	2	6	4	1	食札はA3縦3列5行のタイプで出力できること。また、事前の打合せによりオーダーメイドが可能なこと。
2	2	6	4	2	食札は差分が印刷できること。
2	2	6	5		食品加熱記録簿
2	2	6	6		保存検食ラベル
2	2	6	7		日本人の食事摂取基準に対応していること。また変更があった場合に保守対応で更新ができること。
2	2	6	8		日本食品標準成分表に対応していること。また変更があった場合に保守対応で更新ができること。
2	3				個人献立機能
2	3	1			患者個人の献立作成が可能。
2	3	2			禁食対応が必要な患者を一覧可能。
2	3	3			個人献立を作成したことが、食事箋データ管理画面で確認可能。
2	3	4			食事オーダーにより、作成した個人献立が変更となったことが確認可能。
2	3	5			変更となった個人献立を再度呼び出して適用可能。
2	3	6			以下の帳票が出力可能。
2	3	6	1		個人献立表
2	3	6	2		個人献立一覧表
2	3	6	3		週間個人献立表
2	3	6	4		個人献立栄養成分表
2	4				クックチル機能
2	4	1			献立作成時、料理単位にクックチル指定可能。
2	4	2			クックチル用の食品集計が可能。
2	4	3			以下の帳票が出力可能。
2	4	3	1		クックチル用献立表
2	4	3	2		クックチル用調理指示表
2	4	3	3		調理指示表（サーブ&チル）
2	4	3	4		クックチル用食品加熱記録簿
2	4	3	5		クックチルラベル
2	5				栄養管理機能
2	5	1			摂取量の入力が可能。
2	5	1	1		一括入力
2	5	1	2		患者単位入力
2	5	2			約束食事箋の登録が食種毎に可能。
2	5	3			以下の帳票が出力可能。
2	5	3	1		栄養出納表
2	5	3	2		献立栄養成分表
2	5	3	3		糖尿交換表
2	5	3	4		腎臓交換表
2	5	3	5		食品量表
2	5	3	6		年齢構成表
2	5	3	7		荷重平均栄養所要量表

項番	機能要件
2 5 3 8	約束食事箋（給与目標・構成）
2 5 3 9	食品構成表
2 5 3 10	食品群別加重平均栄養成分表
2 6	選択食機能
2 6 1	選択食の予定日・金額の管理が可能。
2 6 2	選択結果の入力が患者単位で可能。
2 6 3	選択結果の入力が病棟単位で可能。
2 6 4	選択結果が食事変更により変更となった患者の確認が可能。
2 6 5	選択食の名称を任意に設定可能。
2 6 6	以下の帳票が出力可能。
2 6 6 1	選択食記入表（アンケート用紙）
2 6 6 2	選択結果一覧表
2 6 6 3	選択食献立表
2 7	発注・納品・在庫管理機能
2 7 1	単価契約処理が可能。
2 7 1 1	見積り金額が低い業者を自動選択可能。
2 7 1 2	選択後の変更も可能。
2 7 1 3	見積りパターン毎に業者設定可能。
2 7 1 4	以下の帳票が出力可能。
2 7 1 4 1	見積書
2 7 1 4 2	単価契約書&内訳書
2 7 1 4 3	単価契約見積調書
2 7 1 4 4	予定価格決定調書
2 7 1 4 5	実例価格表
2 7 1 4 6	購入伺書
2 7 2	発注処理が可能。
2 7 2 1	予定調理数の管理が可能。
2 7 2 1 1	食事箋データから予定食数を自動計上し、+-の入力が可能。
2 7 2 1 2	発注期間で1日毎に設定可能。
2 7 2 1 3	発注期間でコピーも可能。
2 7 2 1 4	食事箋データの無い食種（検食や職員食）も管理可能。
2 7 2 2	食品集計処理が可能。
2 7 2 2 1	患者毎に献立を作成し、食品の集計が可能。
2 7 2 2 1 1	・患者毎の主食
2 7 2 2 1 2	・患者毎の飲物
2 7 2 2 1 3	・患者毎の付加食
2 7 2 2 1 4	・濃厚流動食
2 7 2 3 1	発注量や業者・納品日の調整が可能。
2 7 2 4	以下の帳票が出力可能。
2 7 2 4 1	発注書
2 7 2 4 2	発注増減表 ※発注時と調理時の食品増減確認
2 7 2 4 3	検収簿
2 7 3	納品入力が可能。
2 7 3 1	発注単位で納品入力が可能。
2 7 3 2	初期値は発注量を表示可能。
2 7 3 3	以下の帳票が出力可能。
2 7 3 3 1	食品消費日計表
2 7 3 3 2	業者別購入額集計表
2 7 3 3 3	業者別購入内訳書
2 7 3 3 4	給食材料消費日計表
2 7 4	在庫管理が可能。
2 7 4 1	在庫食品の管理が可能。
2 7 4 1 1	在庫食品は単価と在庫量を3世代管理可能。
2 7 4 1 2	在庫食品の購入処理が可能。
2 7 4 2	在庫食品の棚卸処理が可能。
2 7 4 2 1	月末の在庫量を1月分に自動振り分けも可能。
2 7 4 3	在庫食品の繰越処理が可能。
2 7 4 4	以下の帳票が出力可能。
2 7 4 4 1	在庫食品払出表
2 7 4 4 2	在庫食品出庫予定表
2 7 4 4 3	在庫食品共用簿
2 7 4 4 4	在庫食品受払一覧表
2 8	N S Tサポート機能
2 8 1	N S Tに必要な情報を収集し、Excelへ出力が可能。

項番	機能要件
2 8 2	以下の帳票作成を支援可能。 ・栄養管理計画書 ・栄養アセスメント書 ・NST計画書 ・NST報告書
2 8 3	患者毎の提供栄養量を正しく計算可能。 ・患者毎に主食を置き換え ・患者毎に飲物を置き換え ・付加食品を追加
2 8 4	患者毎の摂取栄養量を正しく計算可能。 ・喫食率による摂取栄養量を計算 ・経口だけでなく、経腸も計算 ・輸液として薬品の栄養価も計算
2 9	月報機能
2 9 1	以下の帳票が出力可能。
2 9 1 1	給食数一覧表（個人）
2 9 1 2	給食数一覧表（食種）
2 9 1 3	給食数一覧表（食種）病棟別
2 9 1 4	特定給食施設栄養管理状況報告書
2 9 1 4 1	特定給食施設栄養管理状況報告書は、病院指定の様式で出せること。
2 9 1 5	食種別給食数集計表
2 10	マスタメンテナンス機能
2 10 1	マスタメンテナンス画面で並び替えや検索が可能。
2 10 2	必須項目の入力チェックが可能。
2 10 3	マスタの一覧を印刷可能。
2 11	自動連係&印刷機能
2 11 1	指定した時間に食事箋の自動取込に合わせて自動印刷が可能。
2 11 2	マスタ設定は曜日毎に可能でコピーも可能。
2 11 3	印刷時間に制限なく設定可能。（1日の設定数）
2 11 4	帳票毎に、日付・食別・条件・部数 が設定可能。
2 11 5	帳票毎の印刷条件は20パターン以上設定可能。
2 11 6	食数系の帳票だけでなく、日々利用する帳票が対象。
2 11 7	委託業者が使用する仕込み表等を自動印刷ができること。
3	機器・基本ソフトウェア構成
3 1	サーバ・クライアント装置 サーバ兼クライアント1台・クライアント1台 計2台
3 2 1	CPU：Core i5 以上
3 2 2	HDD：250GB 以上 *サーバ機RAID1構成 以上
3 2 3	メモリ：8GB 以上
3 2 4	モニタ：解像度 1920×1080(FULLHD) 以上
3 2 5	Windows10 Professional または Windows 11 PRO
3 2 6	Microsoft Office 2019 以上 ※Excel必須
3 3	機器との接続に必要なハブ・LANケーブル等
3 4	プリンタ装置
3 4 1	レーザープリンタ（A3対応）※速度：カラー30枚／分 以上、モノクロ30枚／分 以上
3 5	保守用機器（サーバ用）
3 5 1	インターネット回線もしくはVPN回線
3 5 2	USB接続HDD：500GB以上 ※但し、NAS等が使用可能な場合、不要